

玄関戸用電気錠システム 施工マニュアル

— ナンバーキーシステム —

警告

- 本製品には消費者の皆様に安全な製品をお届けする意味で、重要な取り付けに関する説明書が付いております。当製品の取り付け前に、必ず説明書を読み十分理解したうえで取り付けを行ってください。
- 説明書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

はじめに

このたびは、電気錠システムをご採用いただきありがとうございます。
お客様に末永く満足してご使用いただくためにも、このマニュアルにより正しい取り付けおよび動作の確認をしてください。

なお、このマニュアルはセットの各部品の取り付け結線の仕方およびシステム全体としての動作の説明がしてあります。ご不明な点などがありましたら最寄りのトステム（株）の営業所にお問い合わせください。

目次

1. 安全について	1
2. システム概要	2～3
3. 施工手順	4
3-1. 設計・施工工程モデル	5
3-2. 配線引き出し位置	6～7
3-3. 配線引き出し部木加工	8～9
3-4. 点検ボックスへの引き出し方法	10
4. 使用部品一覧	11～12
5. 施工方法	13
5-1. 構成図	13～14
5-2. 接続方法	15
5-3. 取付方法	16～18
6. 通電金具の取付け	19
7. 施工後の確認	20
7-1. 各部の名称とはたらき	20～21
7-2. 動作の確認	22～28
7-3. こんな場合には	29～32
7-4. その他の調整方法	33
8. 外観寸法図	34～35
9. 仕様	36
10. 配線色別信号内容図	37～38

1. 安全について

警告用語の種類と意味

この取り扱い説明書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し本書の内容（指示）に従ってください。

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障等につながる場合に用います。

警告

- チャイム線など既設の配線には交流100Vが通電されている場合があります。その配線を利用すると機器の破損および感電の原因となります。
- 開口部から内部に金属類を差し込んだり落としたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源を入れる前に、誤配線、ショート等がないことを確認してください。火災、感電の原因となることがあります。
- 機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。
- 機器に液体（水、ジュース、薬品等）が入ったり、ぬらさないようにしてください。火災、感電の原因となります。
- 電源プラグの部分にはほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり重いものをのせないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。

注意

- 振動、衝撃の多い場所におかないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

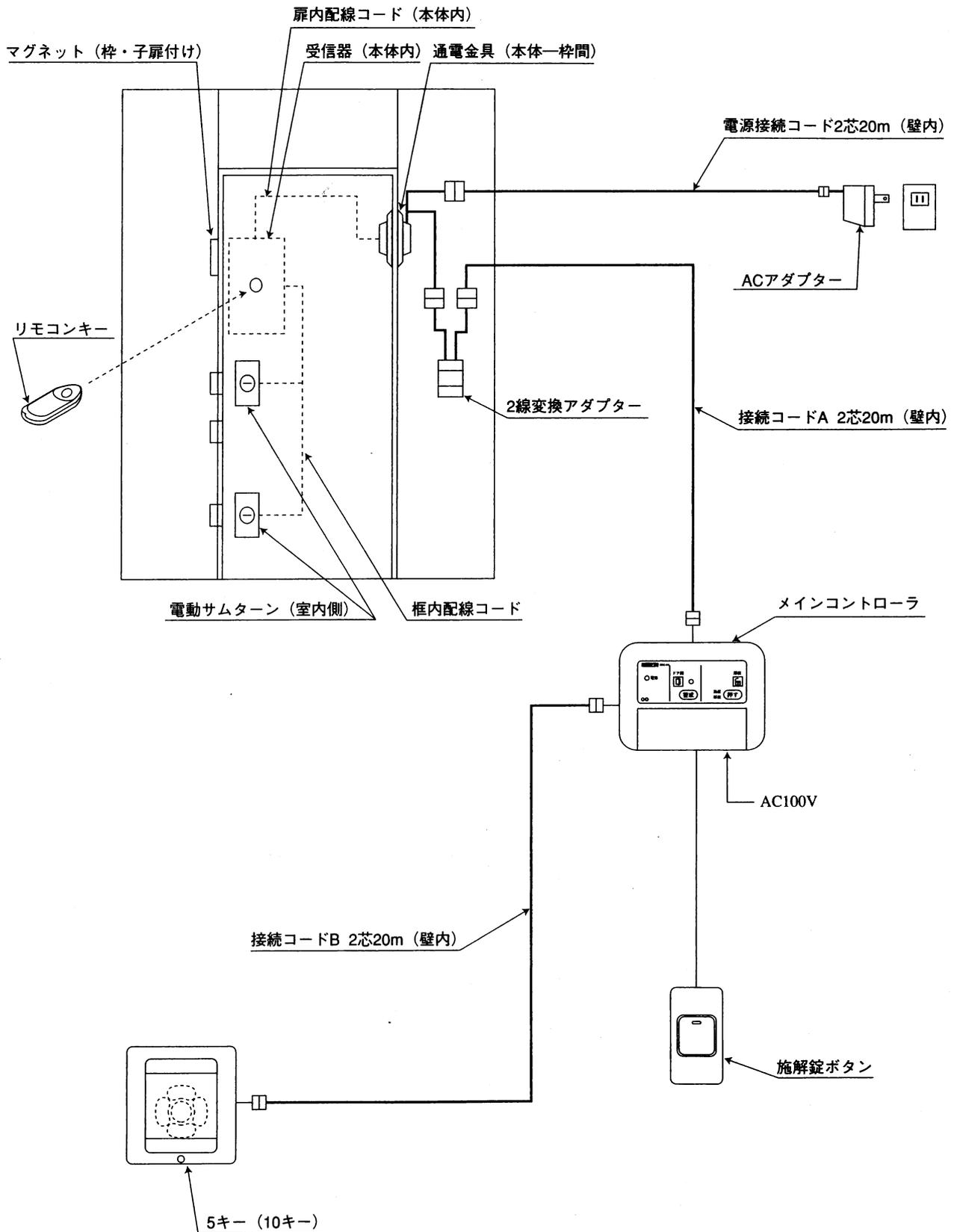
お願い

- このシステムには、電源線が直結式の製品が含まれています。結線工事には必ず電気工事士免許取得者の方が行ってください。
- アース（D種接地）工事がされていない場合、外部からの過電圧で機器が破損したり、外部および機器間のノイズにより誤動作の原因となります。
- 電源を入れた状態で配線、取付、結線をしないでください。故障の原因となることがあります。
- 次の場所での設置は避けてください。故障の原因となることがあります。
 - ・ 暖房機器およびボイラー等の火気の近くなど温度が上昇するところ
 - ・ 鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素（温泉地）などのかかる恐れのあるところ
 - ・ 浴室、地下室、温室などの湿度の高いところ
 - ・ 冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低いところ

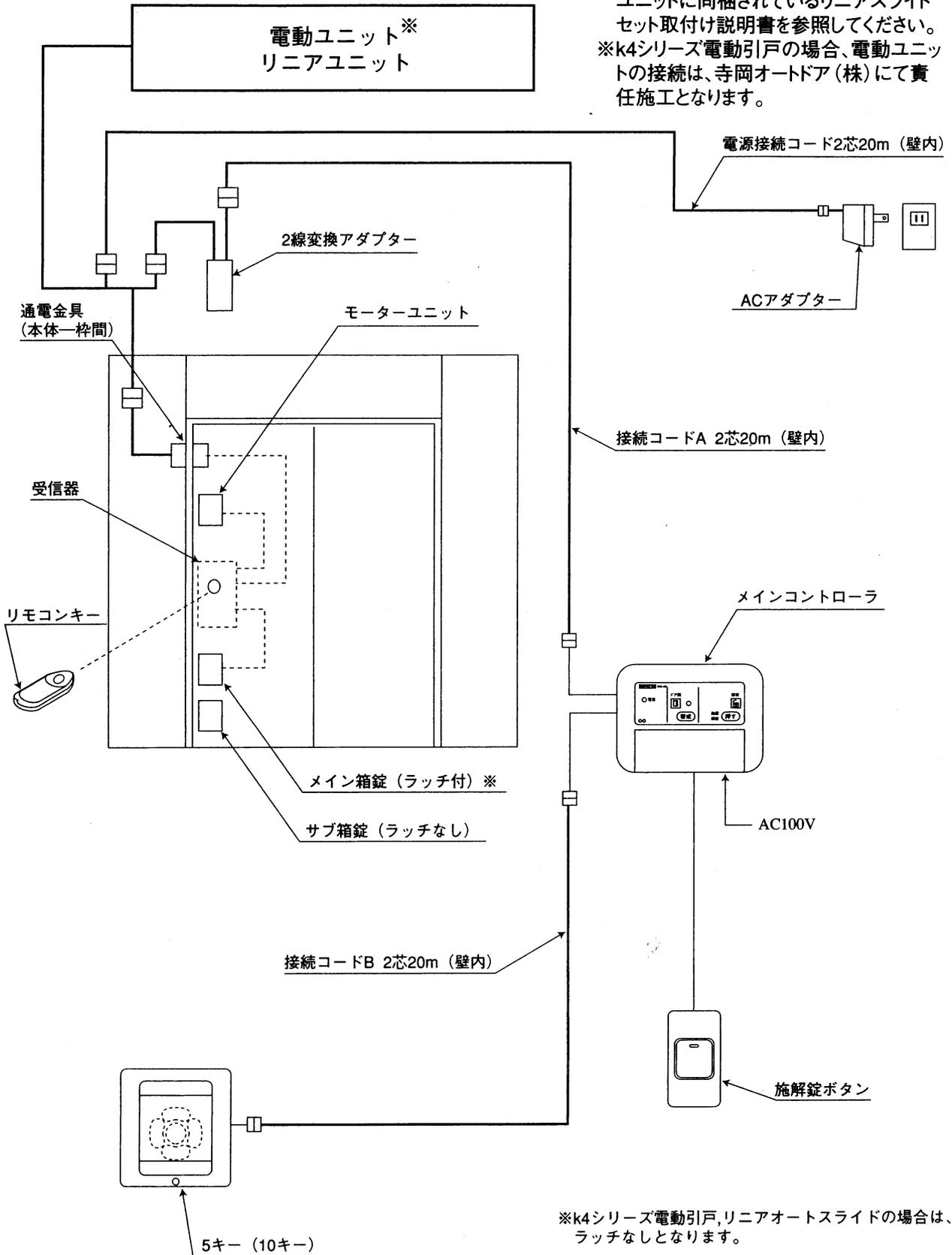
2. システム概要

システム全体の名称

A. 玄関ドアの場合



B. 玄関引戸の場合



3. 施工手順

電気錠付玄関戸は従来の玄関戸とは異なります。先にご留意点を申し上げます。

1. 枠、本体、子扉、袖は、電気錠付専用となります。
 - 枠、本体の中を配線が通りますので、規格品の玄関戸は使用できません。電気錠付玄関戸としてセットでご注文ください。

2. 電気配線工事は、内装工事をする前に必ず、電気工事店様にご依頼ください。
 - 玄関戸から各機器までの配線は、躯体の中を通ることになりますので、内装を仕上げる前に配線工事、埋込ボックスの取り付けが必要になります。

〈k4シリーズ電動引戸の場合〉

 - 電動ユニットの施工について、寺岡オートドア（株）との打ち合わせが必要となります。
 - 電動ユニットまでの電源は配線が必要となります。

〈エスキューブリニアオートスライドの場合〉

 - リニアユニットまでの電源は配線が必要となります。詳細は、リニアユニットに同梱されているリニアスライドセット取付け説明書を参照してください。

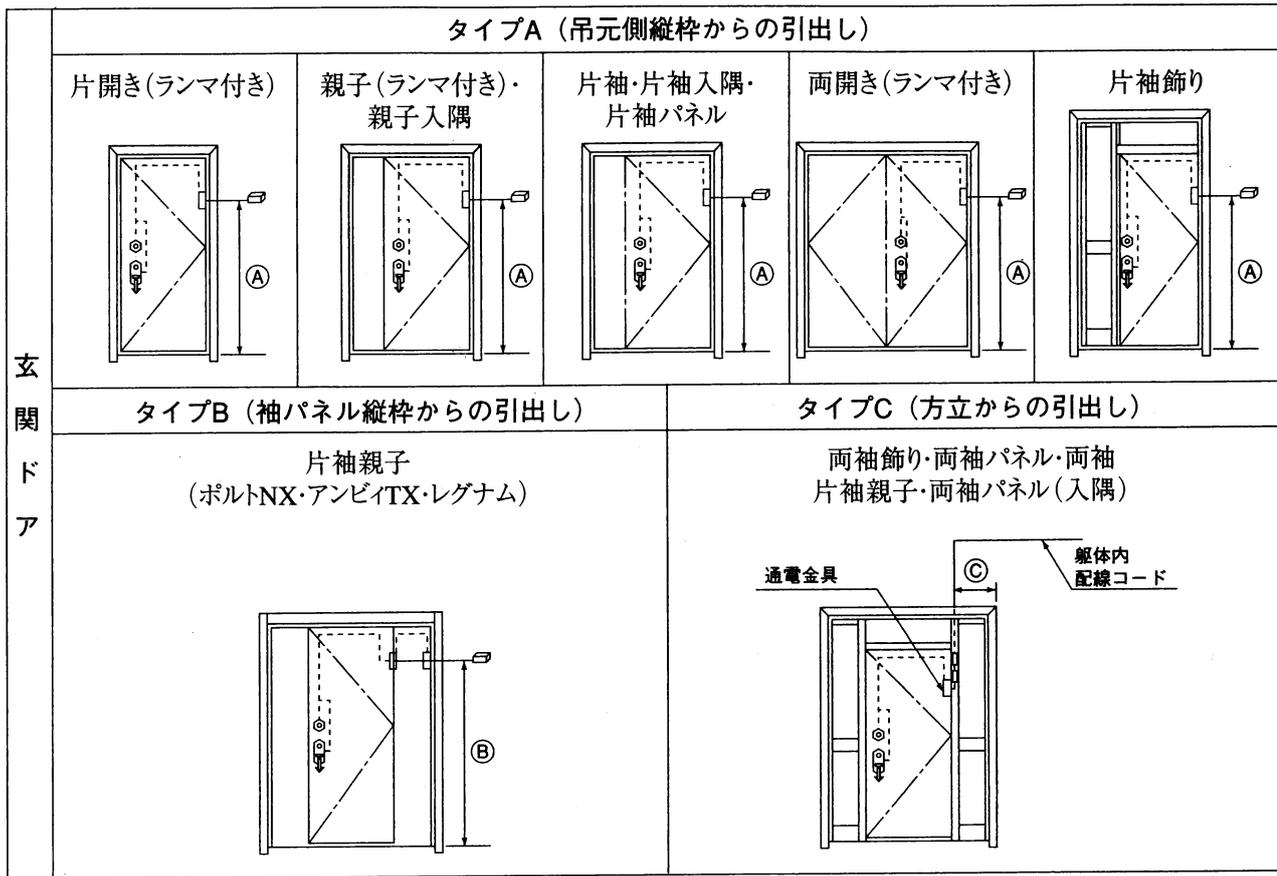
3. お施主様、建築設計者様と十分打ち合わせをしてください。
 - 躯体内配線のため、内装工事終了後の変更は難しくなります。
 - システム系統図、配線図を作成し、機器の設置場所を決めてください。

3-1. 設計・施工工程モデル

建築工程 (在来工法)	電気錠システム施工工程
お施主様との打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> システム設置場所の決定
↓	
建築設計	<ul style="list-style-type: none"> システム系統図の作成……………各機器の最大接続距離は36ページを参照ください。 システム配線図の作成
↓	
サッシ取付	<ul style="list-style-type: none"> システム用玄関戸の取付……………接続コード（基本セット同梱）を電気工事店様にお渡しください。 玄関戸枠まわりの配線用木加工……………8～9ページを参照ください。
↓	
電気配線工事	<ul style="list-style-type: none"> 電気配線工事 <ul style="list-style-type: none"> メインコントローラ↔5キーまたは10キー…接続コードはコネクタ付でオス・メスの区別があります。配線コードの端に付いているラベルに従って配線してください。逆に配線すると、接続できません。 メインコントローラ↔2線変換アダプター 埋込ボックスの取付……………埋込ボックスは付属しておりませんので、各々指定されております市販のボックスを用意してください。（一部部品を除く） (点検ボックスの取付)……………枠のタイプにより取り付けをおすすめします。10ページを参照してください。
↓	
現地調査	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査……………k4シリーズ電動引戸の場合のみ電動ユニットを取付ける場合、配線の確認、電源スイッチが取付けられているかを確認してください。
↓	
内装工事	
↓	
電気器具の取付	<ul style="list-style-type: none"> 各機器の取付……………16～18ページを参照してください。 結線……………13～15ページを参照してください。
↓	
自動用工事	<ul style="list-style-type: none"> 自動用工事……………k4シリーズ電動引戸の場合のみ電動ユニットは寺岡オートドア(株)にて責任施工となります。
↓	
竣工	<ul style="list-style-type: none"> 動作確認……………各システムのご使用方法および20～32ページの施工後の動作確認に従って確認してください。

3-2. 配線引き出し位置

A. 玄関ドアの場合《枠タイプ別配線引き出し位置》

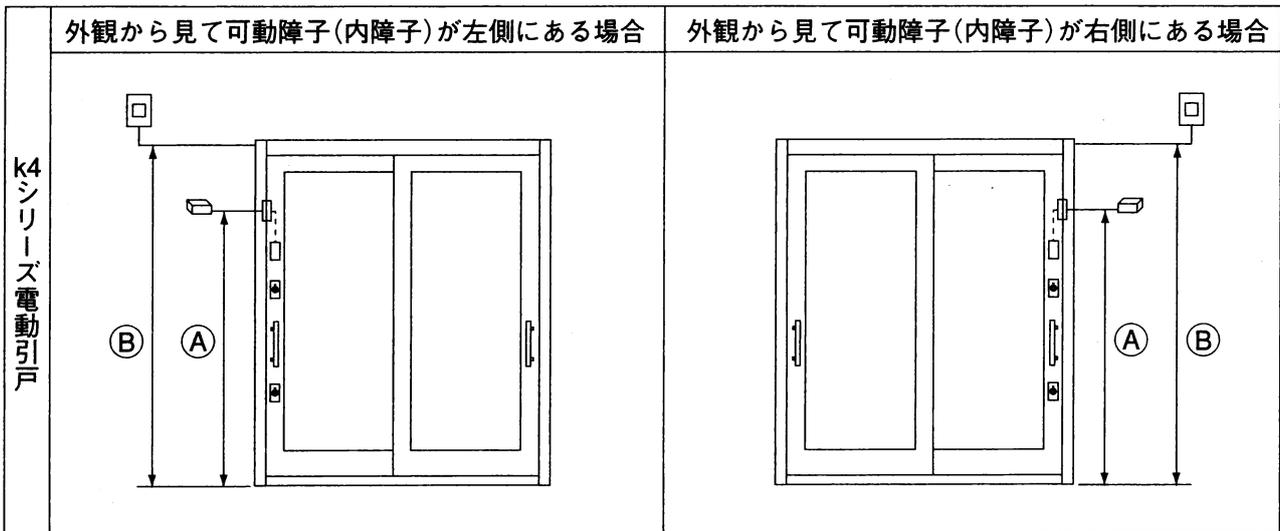
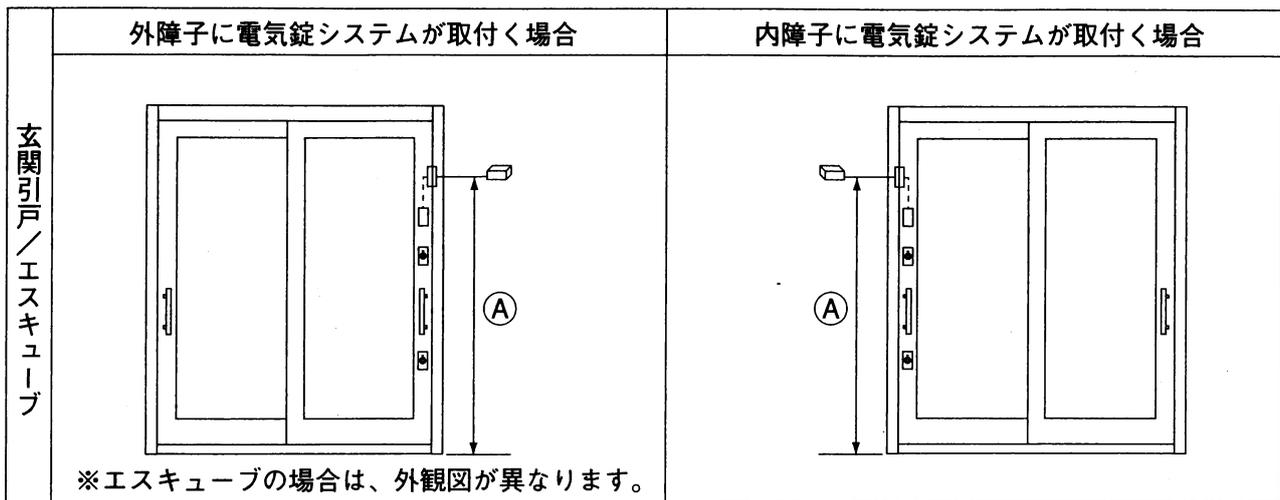


(注) ①、②、③は、枠基本寸法端部からの寸法で表記してあります。

[配線引き出し位置寸法表]

商品名	寸法	①	②	③
(ポルトNX・アンビィTX・レグナム)		1,952	1,952	—
エスキューブ	片開き・片袖・片袖入隅	1,654	—	—
	両袖	—	—	163.5
アスティ	片開き・親子・両開き	1,536	—	—
	片袖親子	—	—	393.5
グランザEX フォルマEX マデラードEX	片開き(ランマ付き)・親子(ランマ付き) 親子入隅・両開き	1,630	—	—
グランザ フォルマ マデラード プレナスS セルバ	片開き(ランマ付き)・親子(ランマ付き) 親子入隅(ランマ付き)・両開き(ランマ付き) 片袖飾り・片袖パネル	1,654	—	—
プレナスS	片袖親子	—	—	415
	両袖パネル・両袖飾り	—	—	364

B. 玄関引戸の場合《枠タイプ別配線引き出し位置》



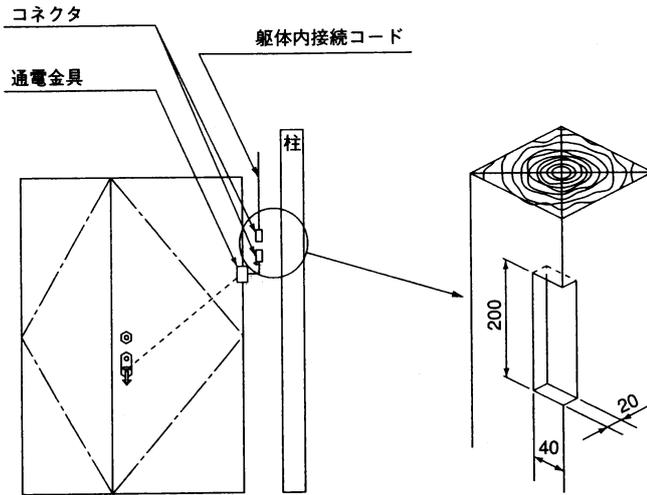
[配線引き出し位置寸法表]

商品名	寸法	Ⓐ	Ⓑ
断熱玄関引戸 k3・k4シリーズ		1,650	2,300 (特注時：H-57) H：基本寸法
エスキューブ (リニアオートスライド含む)		2,050	—
断熱玄関引戸 PGシリーズ		1,694	—

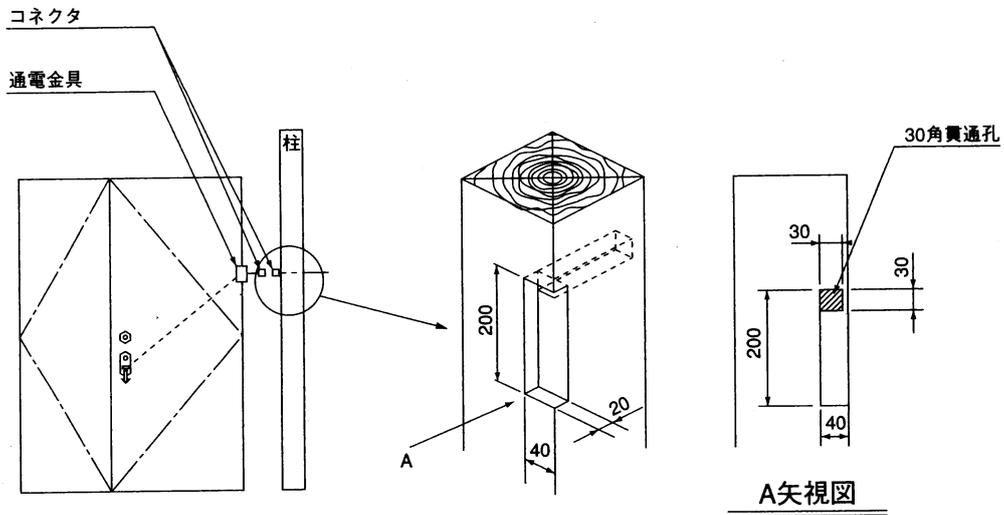
3-3. 配線引き出し部木加工

A. 玄関ドアの場合

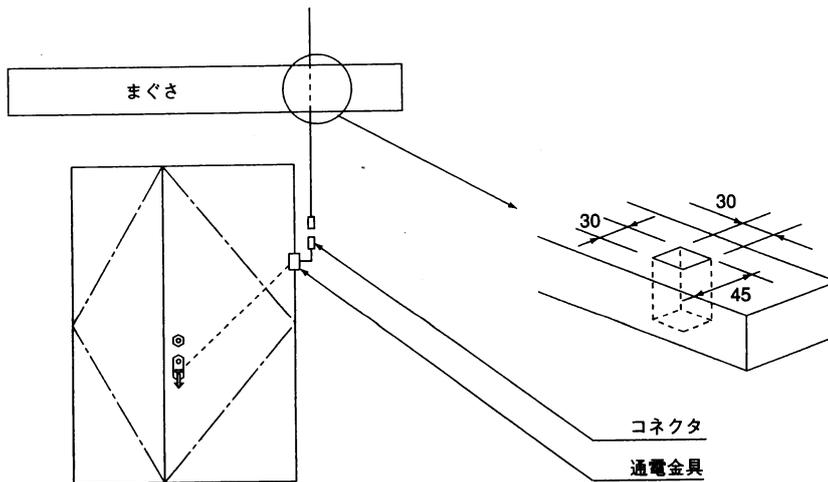
① 吊元側縦枠から上枠側へコードを通線する場合



② 吊元側縦枠から柱を貫通し、コードを通線する場合

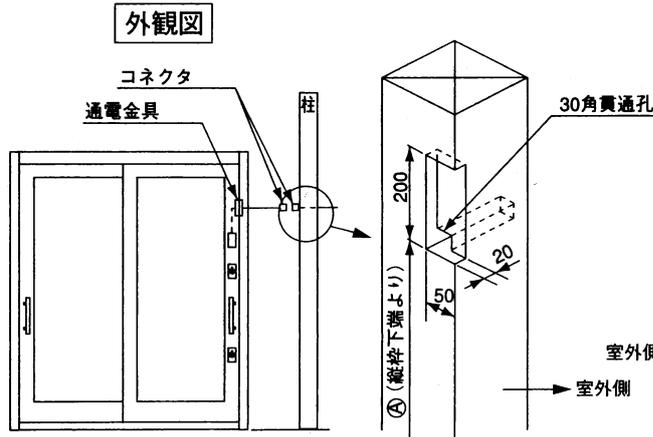


③ 上枠からまぐさを貫通し、コードを通線する場合

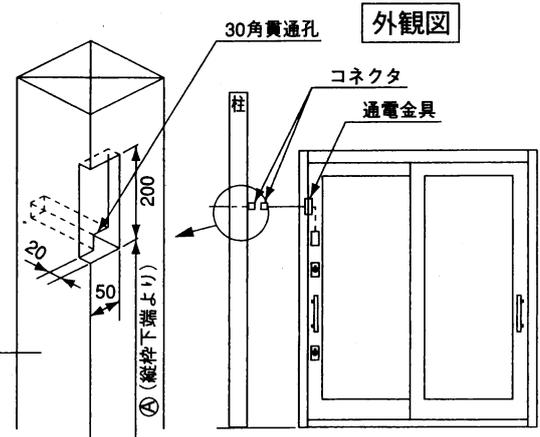


B-1. 玄関引戸／エスキューブの場合

① 外障子に通電金具がある場合



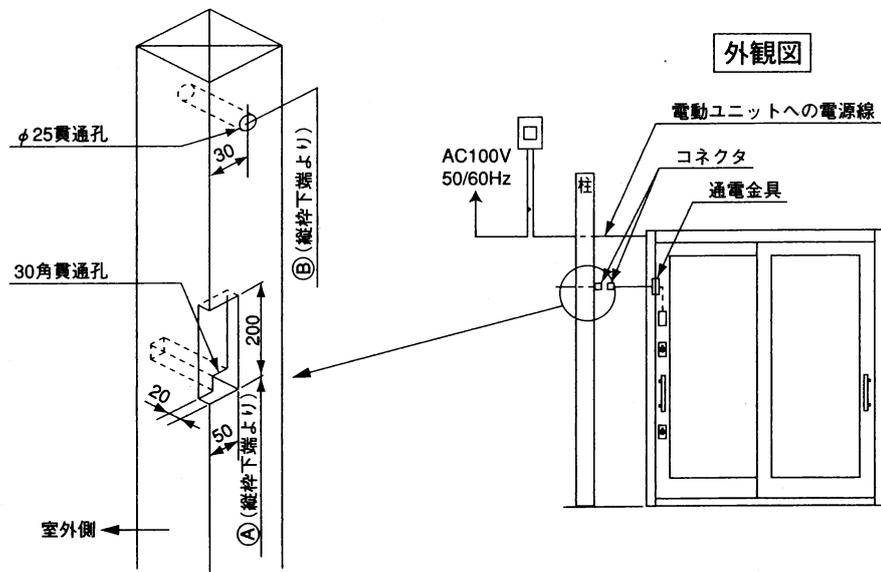
② 内障子に通電金具がある場合



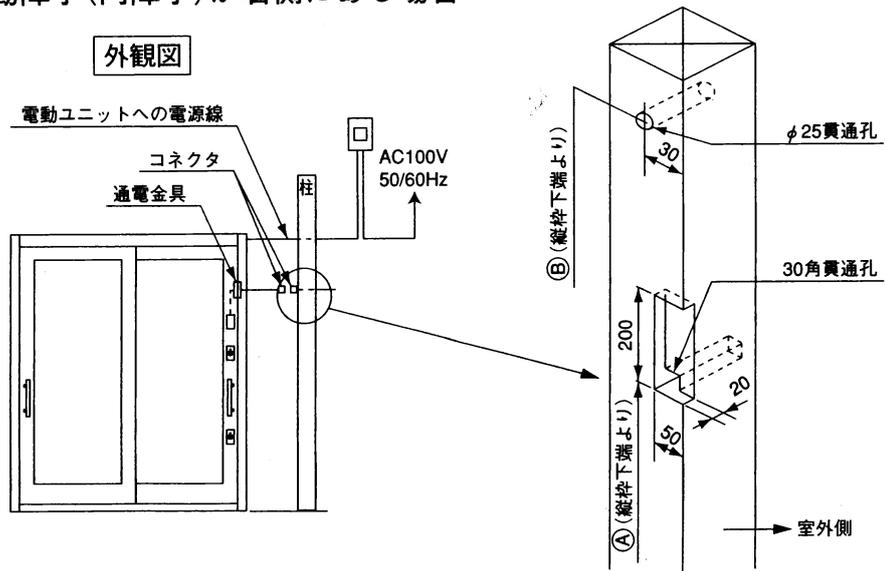
※エスキューブの場合は外観図が異なりますが、木加工形状は同じです。

B-2. k4シリーズ電動引戸の場合

① 外観から見て可動障子(内障子)が左側にある場合



② 外観から見て可動障子(内障子)が右側にある場合



3-4. 点検ボックスへの引き出し方法

玄関引戸／エスキューブのみ

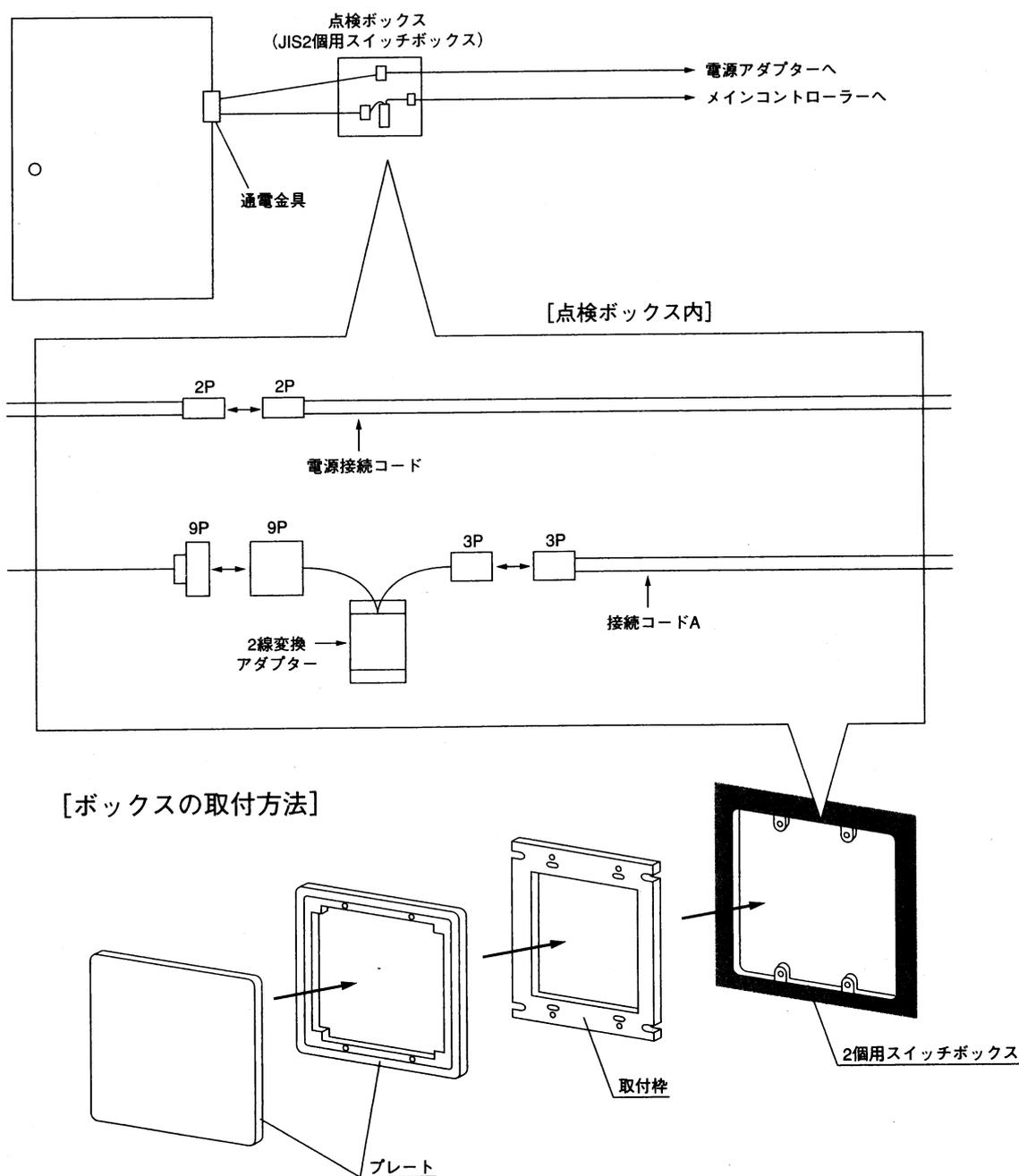
玄関引戸／エスキューブのみ点検ボックスの取付が必要です。下記に従って必ず取り付けてください。
玄関ドアの場合は不要です。

■点検ボックスの取付

(施工後のメンテナンスを容易にするために必ず必要です)

→事前に工事店様と打ち合わせて設置してください。

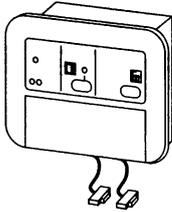
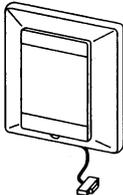
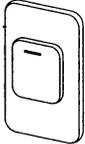
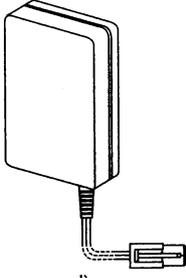
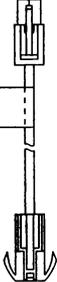
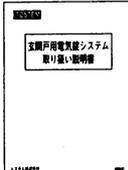
JIS2個用スイッチボックス (現場手配品)



4. 使用部品一覧

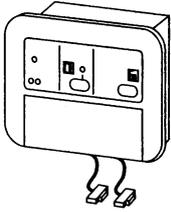
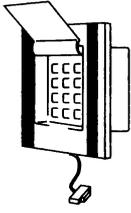
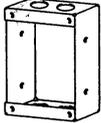
A. 5キーの場合

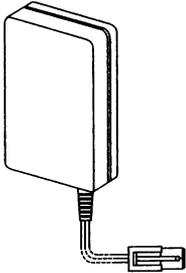
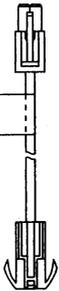
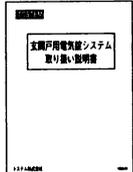
〈玄関ドア・引戸共通〉

<p>メインコントローラ QDC-366</p>  <p>・2線変換アダプター×1個 一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バインドネジ M4×25mm×4本 ・ナベ木ネジ M4.1×22mm×4本 ・設定スイッチ用ドライバー×1個 (本体内部に付属) ・JEM-Aコネクタ×2本 (2本組) ・コネクタ3P×1個 8P×1個 9P×1個 ・AC100Vシール×1枚 	<p>5キー解錠装置 QDC-367</p>  <p>一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バインドネジ M4×15mm×4本 ・ナベ木ネジ M4.1×22mm×4本 	<p>施解錠ボタン DASZ529</p>  <p>一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バインドネジ M4×15mm×2本 ・ナベ木ネジ M4.1×22mm×2本 	<p>接続コードA QDC-383</p>  <p>1本 2線変換アダプター用</p>
<p>接続コードB DASZ531</p>  <p>1本 解錠装置用</p>	<p>AC電源アダプター QDC-361</p>  <p>一式</p>	<p>電源接続コード QDC-390</p>  <p>1本 AC電源アダプター用</p>	<p>説明書</p> <p>施工マニュアル (工事店様用)</p>  <p>MAH-566</p> <p>取り扱い説明書 (お施主様用)</p>  <p>MAH-567</p> <p>各1部</p>

B. 10キーの場合

〈玄関ドア・引戸共通〉

メインコントローラ QDC-366	10キー解錠装置 QDA-806	施解錠ボタン DASZ529	接続コードA QDC-383
 <p>・2線変換アダプター×1個</p>  <p>一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バインドネジ M4×25mm×4本 ・ナベネジ M4.1×22mm×4本 ・設定スイッチ用ドライバー×1個 (本体内部に付属) ・JEM-Aコネクタ×2本 (2本組) ・コネクタ3P×1個 8P×1個 9P×1個 ・AC100Vシール×1枚 	 <p>・埋込ボックス×1個</p>  <p>一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バインドネジ M4×15mm×4本 ・ナベネジ M4.1×22mm×4本 	 <p>一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バインドネジ M4×15mm×2本 ・ナベネジ M4.1×22mm×2本 	 <p>1本</p> <p>2線変換アダプター用</p>

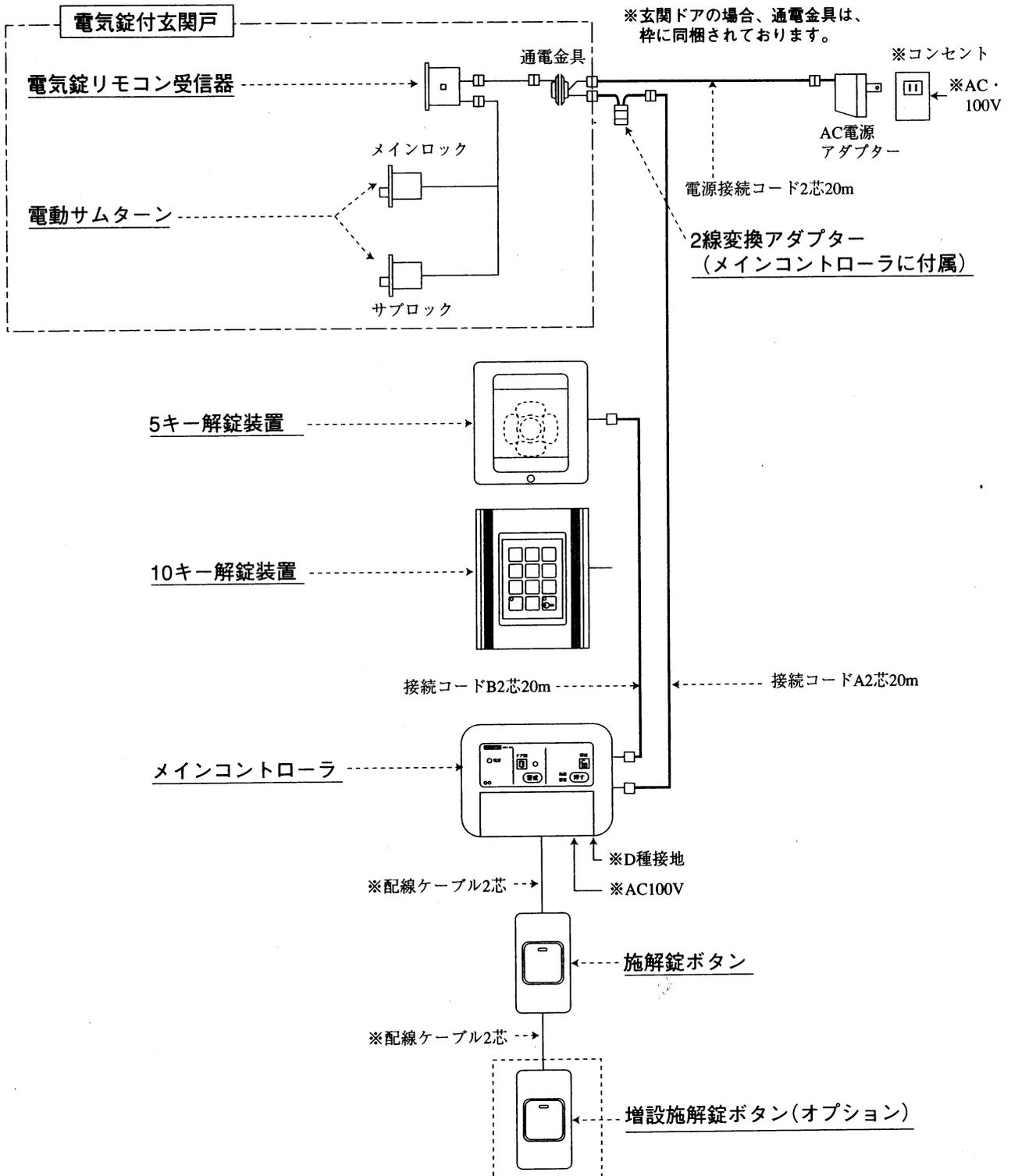
接続コードB DASZ531	AC電源アダプター QDC-361	電源接続コード QDC-390	説明書
 <p>1本</p> <p>解錠装置用</p>	 <p>一式</p>	 <p>1本</p> <p>AC電源アダプター用</p>	<p>施工マニュアル (工事店様用)</p>  <p>MAH-566</p> <p>取り扱い説明書 (お施主様用)</p>  <p>MAH-567</p> <p>各1部</p>

5. 施工方法

5-1. 構成図

A. 玄関ドアの場合

システム構成図 (5キー・10キー共通)

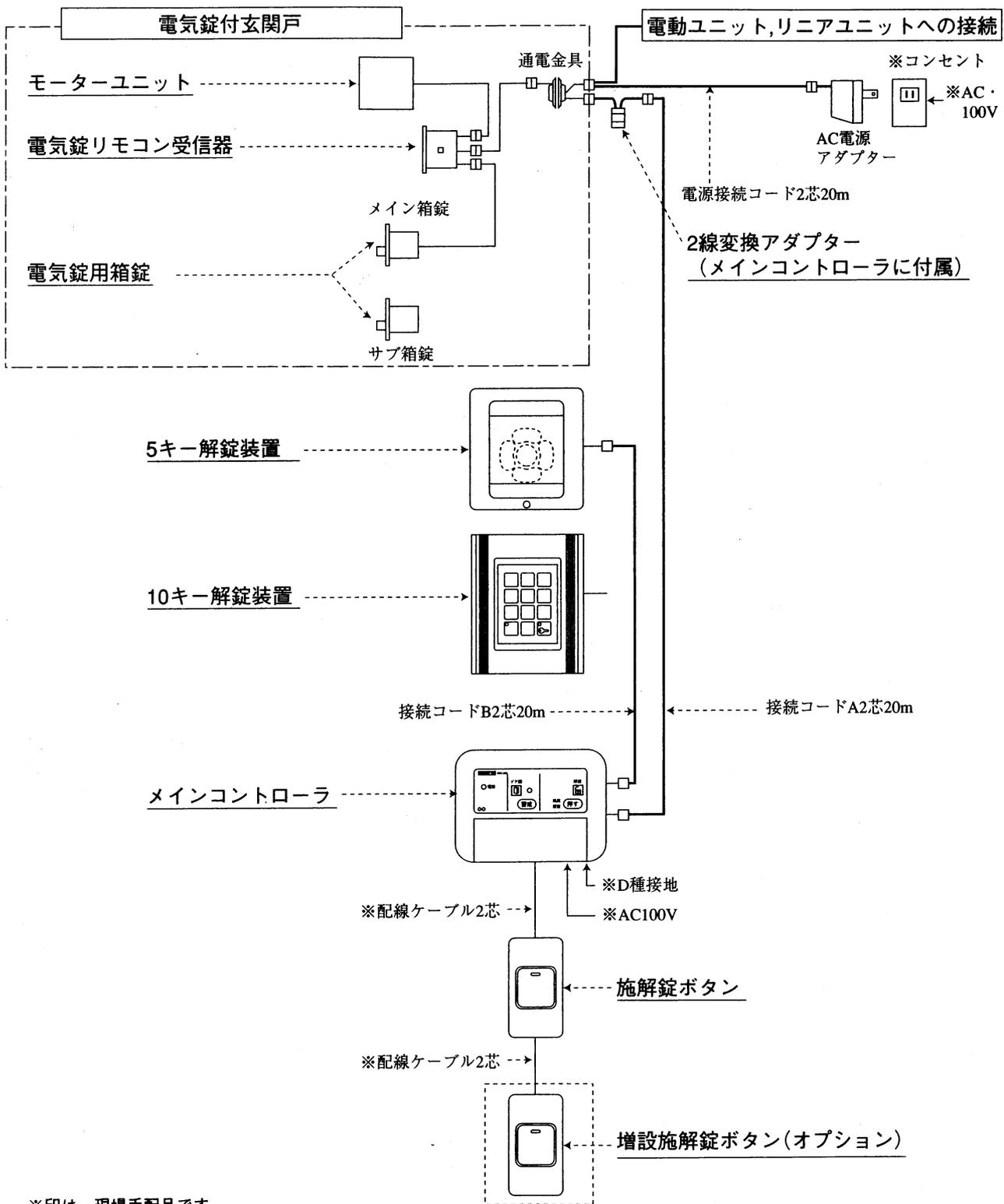


[施工上のお願]

ACアダプターと通電金具の結線には、セットに同梱の「電源接続コード」を必ず使用してください。
 現地手配した配線の使用等により極性(+,-)を間違った場合、ACアダプターや扉内の受信器が故障する可能性があります。

※印は、現場手配品です。

B. 玄関引戸／エスキューブの場合 システム構成図（5キー・10キー共通）



※印は、現場手配品です。

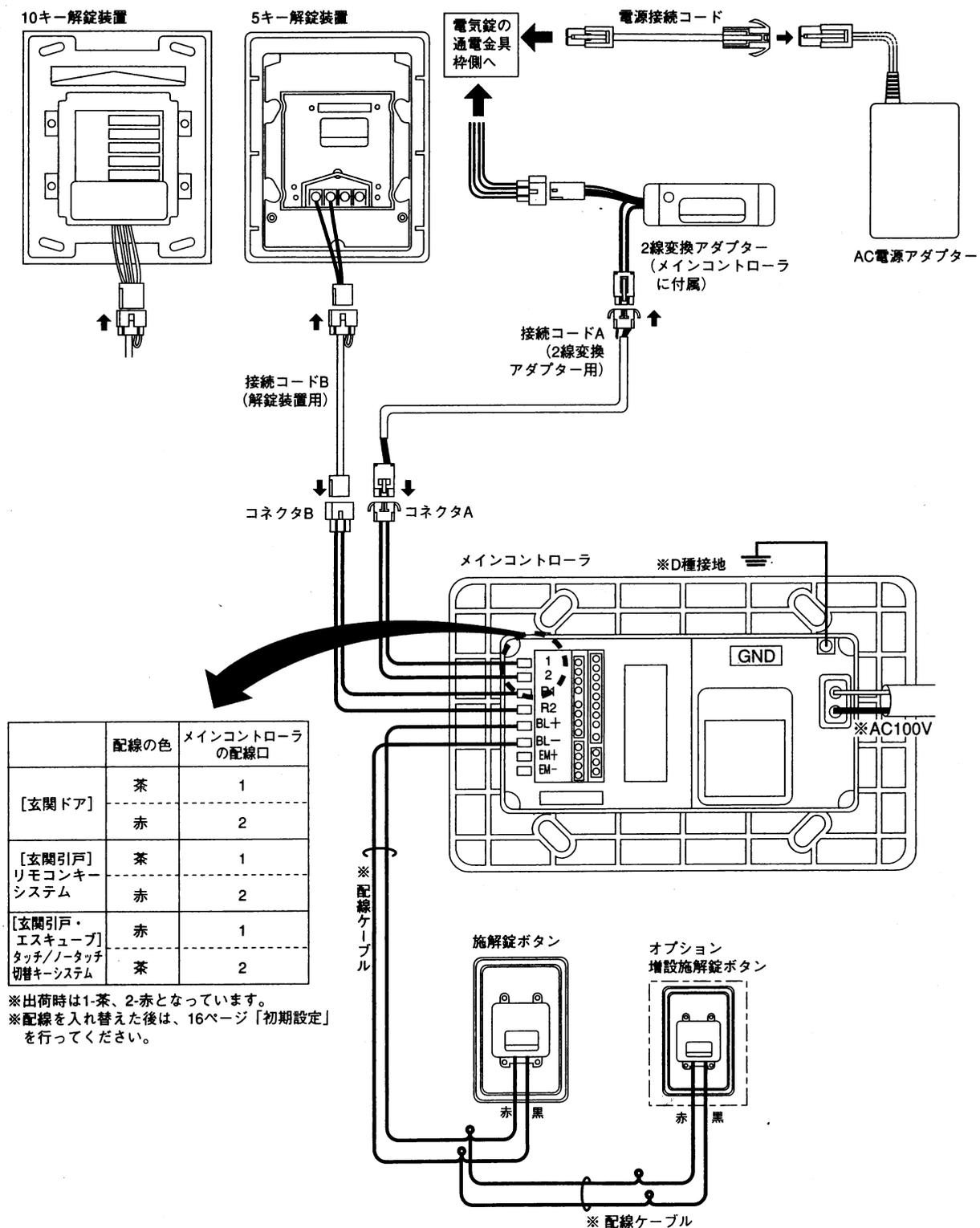
- k4シリーズの電動ユニットへの接続は寺岡オートドア（株）にて責任施工
- リニアユニットへの接続は電気錠システム同様、現場接続となります。詳細は、リニアユニットに同梱されているリニアスライドセット取付け説明書を参照してください。
- 玄関引戸／エスキューブの場合、通電金具は枠、框に取り付け済です。

[施工上のお願]

ACアダプターと通電金具の結線には、セットに同梱の「電源接続コード」を必ず使用してください。
現地手配した配線の使用等により極性(+,-)を間違った場合、ACアダプターや扉内の受信機が故障する可能性があります。

5-2. 接続方法

接続全体図



※印は、現場手配品です。

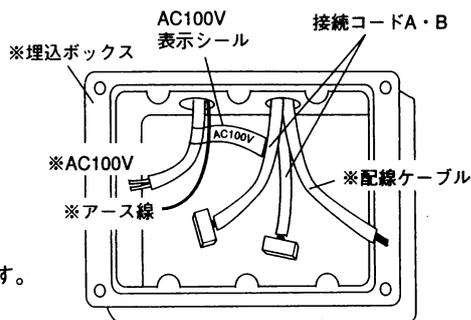
5-3. 取付方法

① メインコントローラ

1. 埋込ボックスと入線について

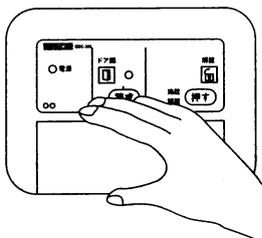
- アース線、AC線は埋込ボックスの左側から、接続コードA・B、配線ケーブルは埋込ボックスの右側から入線してください。
- 付属のAC100VシールをAC線に巻きつけておいてください。

※印は、現場手配品です。

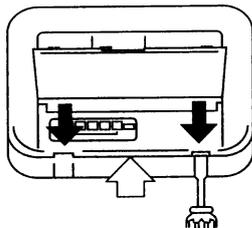


2. 本体の取り付けかた

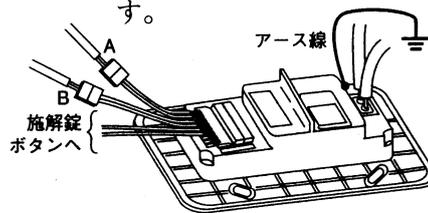
1. 扉を開きます。



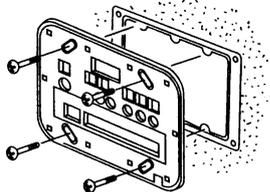
2. ドライバーでシャーシとパネルを分離します。



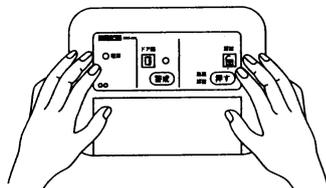
3. 接続コードA・Bを差し込み、AC線、アース線を接続します。



4. シャーシを埋込ボックスに取り付けます。



5. パネルをはめます。



“カチッ”と音がするまで四隅をしっかりと押し込む

3. 接続のしかた

■速結端子への接続について

- 配線ケーブルは線径 $0.65\phi \sim 1.2\phi$ (単芯) を使用してください。(図1)
- 配線ケーブルを速結端子から抜く場合は、ドライバーで「はずし釘」を押しながら線を引っぱります。(図2)

■コネクタの接続について

- カチッという手ごたえがあるまでしっかりと差し込んでください。差し込みが浅いと動作不良の原因となります。

■AC線の接続について

- ボックス内のAC線の電線被覆(シース)をむき、電源孔に強く差し込みます。
- 電線をはずすときは、ドライバーをはずし穴に差し込んで、電線を引き抜いてください。このときドライバーを強くこじたり、回転させないでください。
- AC線はIV線またはVVF線の 1.6ϕ をご使用ください。より線を使用する場合は圧着端子をご使用ください。

図1

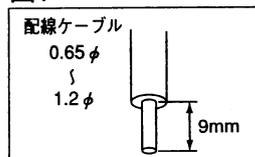
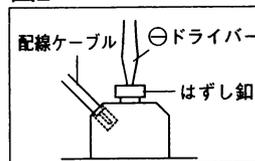
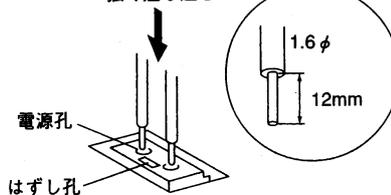


図2



強く差し込む



4. 初期設定について

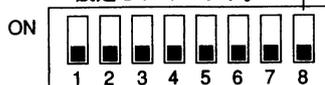
結線完了後、扉を閉めて施錠した状態で電源スイッチを入れ、初期設定をしてください。

設定スイッチ8を1秒以上“ON”にしてから“OFF”にもどします。

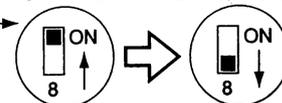
注意 “ON”の状態にしたままでは使用できません。



- 出荷時は下記の状態を設定されています。



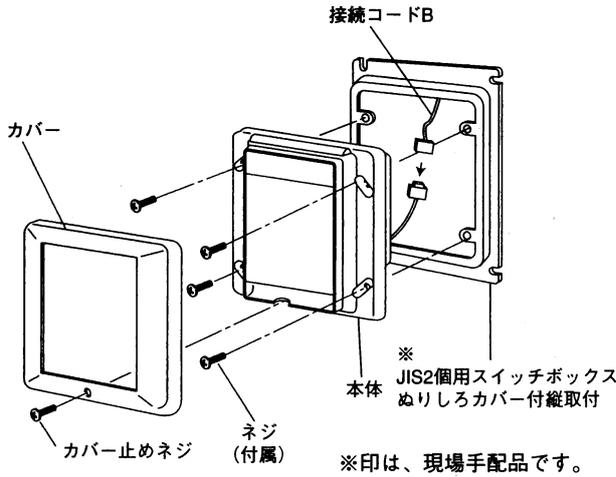
1秒以上“ON”にして“OFF”にもどす



② 解錠装置 ②-1、②-2のどちらかを取り付けてください。

②-1. 5キー解錠装置の場合

1. カバー止めネジをゆるめ、本体からカバーをはずします。
2. コネクタ差し込み後、付属のネジで取り付けます。
3. カバーを本体の上部に引っ掛けるようにして取り付け、カバー止めネジを締めます。

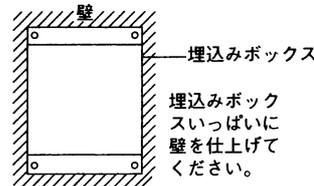
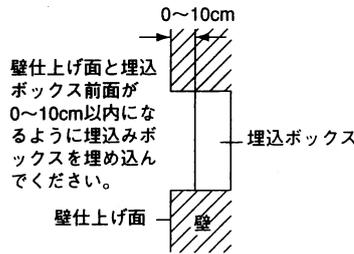


お願い

● 接続箇所の防水について
防水性のあるテープでコネクタ部分を保護してください。

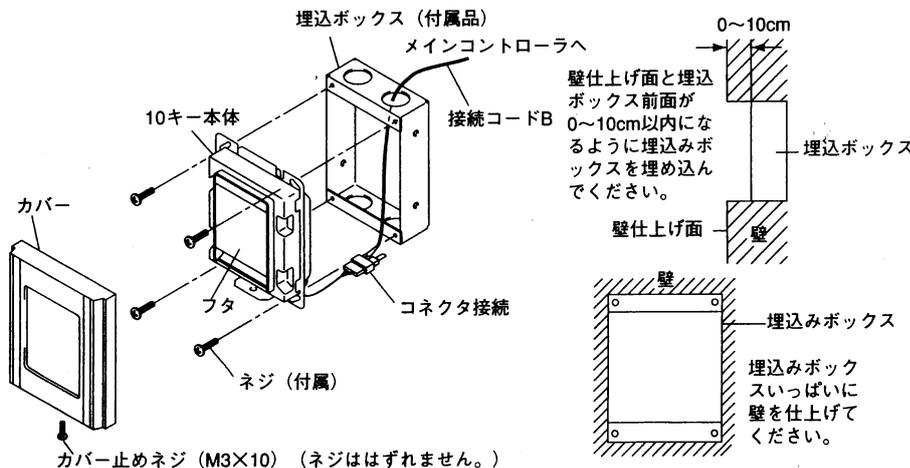
防水性テープでコネクタ全体を保護してください

スイッチボックスは必ず上図のように(縦)取り付けてください。



②-2. 10キー解錠装置の場合

1. カバー止めネジをゆるめ、本体からカバーをはずします。
2. 10キーの下面から出ているコネクタと、接続コードBのコネクタを接続してください。
3. 付属のネジで取り付けます。
4. カバーを上部のツメで本体に引っ掛けるようにして取り付け、カバー止めネジを締めます。



お願い

● 接続箇所の防水について
防水性のあるテープでコネクタ部分を保護してください。

防水性テープでコネクタ全体を保護してください

壁仕上げ面と埋込ボックス前面が0~10cm以内になるように埋込みボックスを埋め込んでください。

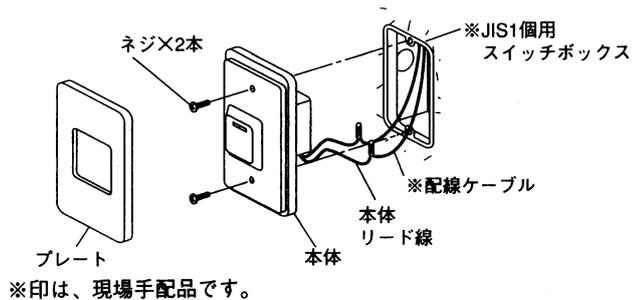
壁仕上げ面

埋込ボックス

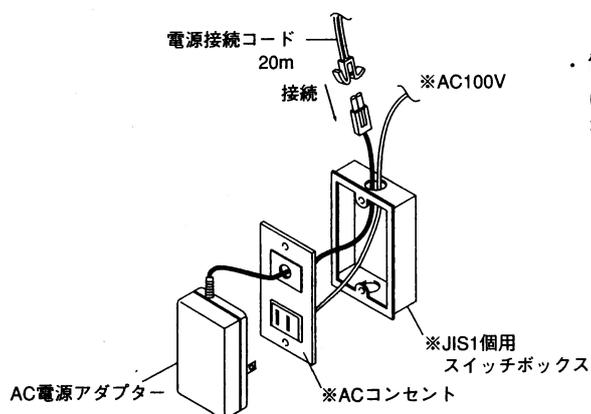
埋込みボックスいっぱい壁を仕上げてください。

③ 施錠ボタンの取付け

1. 本体の下部から出ているリード線と配線ケーブルを接続します。
2. 本体を付属のネジで取り付けます。
3. プレート本体に「カチッ」と音がするようにかぶせます。



④ AC電源アダプターの取付け



・電源接続コードを壁内に納めるために左図の要領で、AC電源アダプターを設置してください。

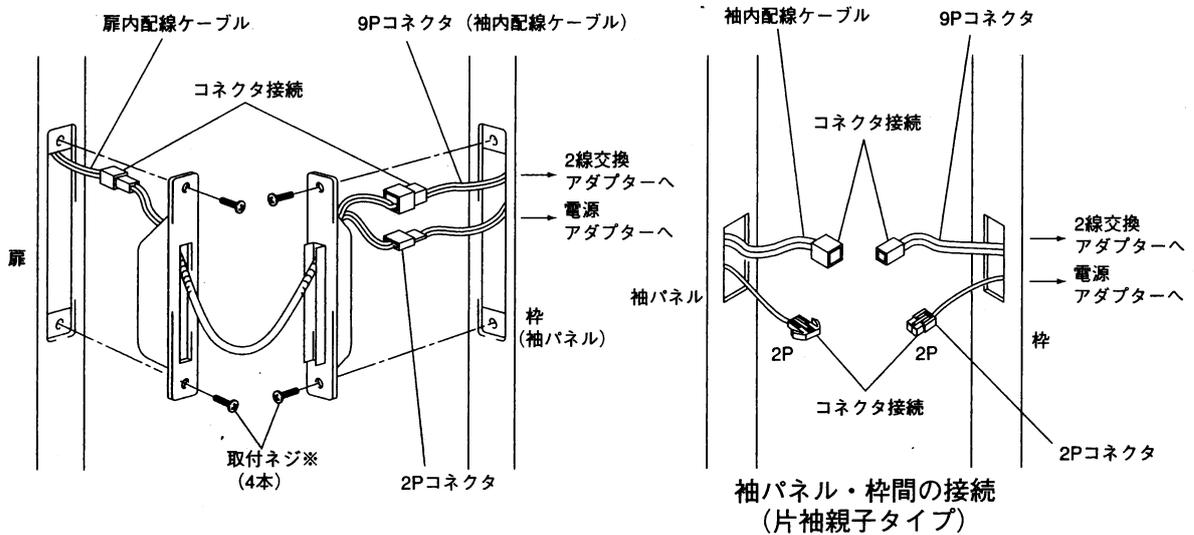
※印は、現場手配品です。

6. 通電金具の取付け

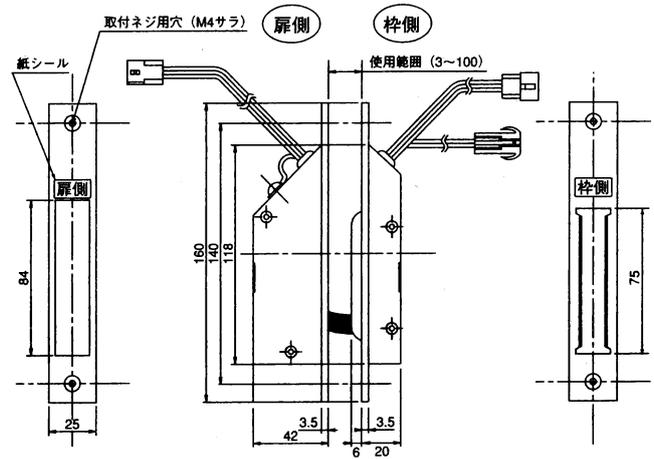
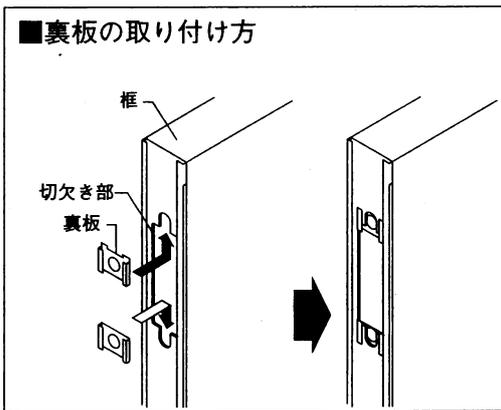
(玄関ドアの場合) 玄関引戸／エスキューブは、枠・障子に取り付け済みです

扉から出ている扉内配線ケーブルのコネクタと、扉側通電金具のコネクタを接続し、ケーブルを扉の中へ押し込んで、通電金具を取付ネジ2本で扉に取り付けてください。同様に縦枠(袖パネル)内のコネクタと、枠側の通電金具のコネクタを接続し、枠(袖パネル)に通電金具を取り付けてください。

※片袖親子タイプの場合は、扉・袖パネル間のみ通電金具の接続となり、袖パネル・枠間の接続には使いません。袖パネルから出ているケーブルのコネクタと枠内のコネクタを接続し、ケーブルを枠内に押し込んでから、袖パネルを枠に取り付けてください。

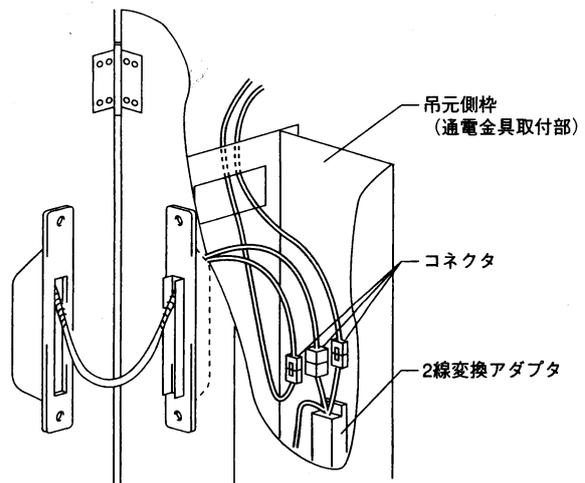


通電金具に裏板が同梱されている商品は、裏板を下図の要領で取り付けてください。



※配線時の注意

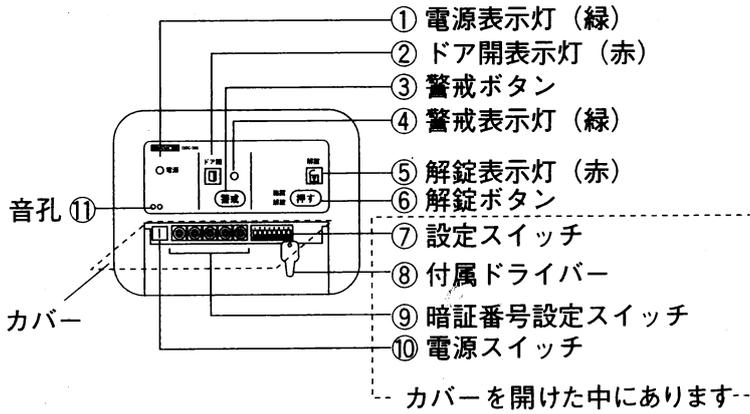
メンテナンスの時、2線交換アダプターやコネクタを引き出せるように、結線は右図のように枠材の内部で行ってください。



7. 施工後の確認

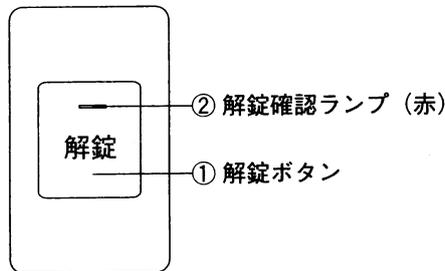
7-1. 各部の名称とはたらき

① メインコントローラ



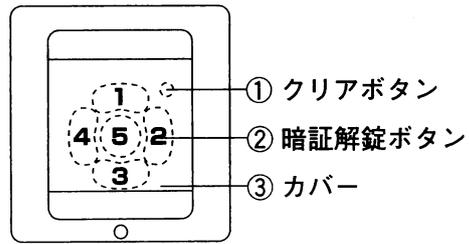
①	機器に電源が入っているときに点灯します
②	ドアが開いているときに点灯します
③	警戒状態に設定するときに押します
④	警戒状態のときに点灯します
⑤	電気錠が解錠状態のときに点灯します
⑥	施解錠操作をします
⑦	システムの機能を設定します(初期設定のみ) :あとはさわらないでください
⑧	暗証番号を設定するときに使用します
⑨	暗証番号を設定します
⑩	電源の入/切をします
⑪	警告音が出ます

② 施解錠ボタン



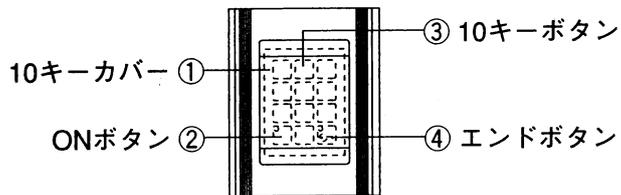
①	ボタンを押しますと電気錠が施解錠されます
②	解錠状態のときに点灯し施錠状態のときに消灯します

③-1. 5キー解錠装置



①	暗証番号を誤って入力したときに押します
②	暗証番号を入力するときに押します (1~5)
③	カバーを開けて操作します

③-2. 10キー解錠装置



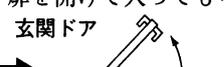
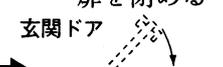
①	カバーを開けて操作します
②	暗証番号を入力する前に押します
③	暗証番号を入力するときに押します
④	暗証番号の入力終了後に押します

7-2. 動作の確認

※動作確認の前に本体の建付け調整およびストライク調整を行い手動にて施錠操作が可能であることを確認してください。

①-1. メインコントローラ

A. 解錠ボタンによる操作

操作手順	操作前	解錠ボタンを押す 	扉を開けて入ってもらう 玄関ドア  玄関引戸電気錠単体 電動引戸・リニアオート 自動で開扉	扉を閉める 玄関ドア  玄関引戸電気錠単体 電動引戸・リニアオート 自動で閉扉	
	ランプの状態	□ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯	□ ドア開…消灯 □ 解錠…点灯	□ ドア開…点灯 □ 解錠…点灯	□ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯
	電気錠の状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

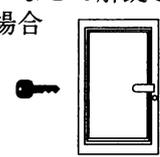
- ・解錠操作をしても扉を開けなかった場合→約30秒後に自動的に施錠されます。
- ・留守番を残して外出するときも同様に操作します。(30秒以内に扉を開けて外に出ます)

B. 手動で解錠したときの施錠操作

操作手順	操作前	解錠ボタンを押します 	
	ランプの状態	□ ドア開…消灯 □ 解錠…点灯	□ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯
	電気錠の状態	解錠	施錠

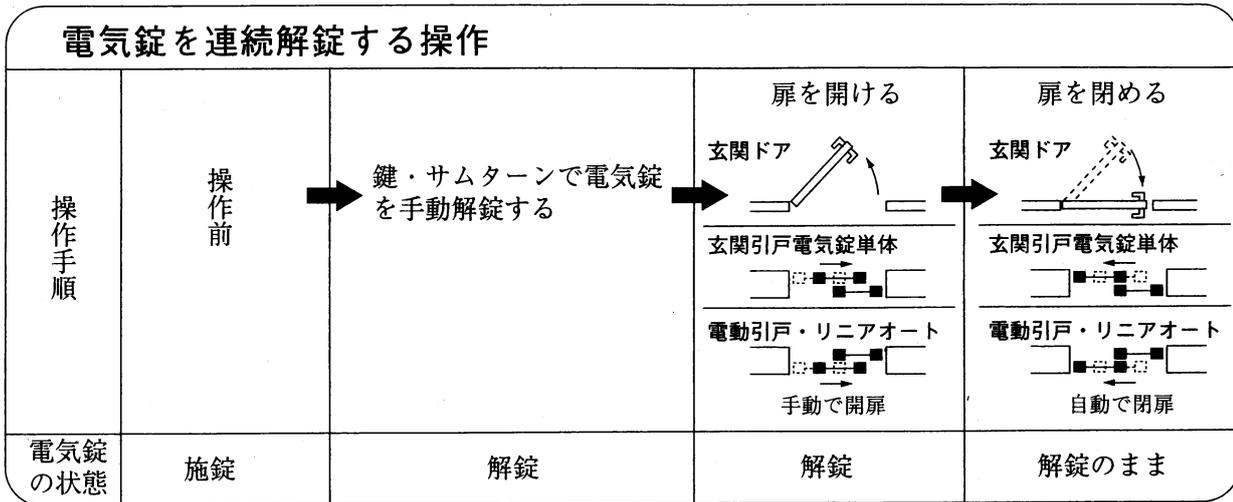
- ・扉が開いているときは施錠できません。

C. 警戒操作—おやすみになる前などに操作

操作手順	警戒ボタンを押す 	扉がこじ開けられた場合 	電気錠が合鍵・リモコンなどで解錠された場合 	ただちに扉の状態を確認し警戒ボタンを押す 	
	ランプの状態	● 警戒…点灯 □ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯	● 警戒…点滅 □ ドア開…点滅 □ 解錠…消灯	● 警戒…点滅 □ ドア開…消灯 □ 解錠…点滅	● 警戒…点灯 □ ドア開…点灯 □ または 解錠…点灯
	警告音	—	ピーピーピー	ピーピーピー	警告音は止まります

- ・警戒状態を解除するには、再度警戒ボタンを押します。(警戒表示灯が消灯します)
- ・警告音停止後は、もう一度警戒ボタンを押し、警戒状態を解除してください。
- ・異常事態が起きたときに、警戒ボタンを押さなくても警告音は約10分後に自動的に止まります。(警戒表示灯は警戒状態を解除するまで消灯しません)
- ・警告音は5キー、10キー解錠装置でも鳴動します。

② 手動での解錠と扉の開閉操作



- ・ 鍵・サムターンで手動解錠すると、扉を閉めても自動施錠はされず、解錠のままとなります。
- ・ 再び施錠するには鍵・サムターンを回してください。（メインコントローラ、5キー解錠装置等でも施錠できます）

お願い

- 電気錠を鍵またはサムターンで解錠した場合は、扉が閉まっても自動施錠されませんので、施錠する場合は、鍵またはサムターン操作もしくは、メインコントローラ等の解錠ボタンを操作してください。

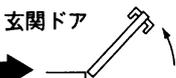
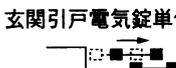
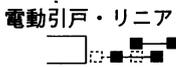
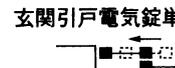
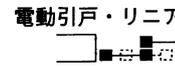
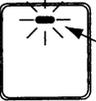
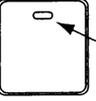
留意(k4シリーズ電動引戸の場合)

手動で解錠し、手動で引戸を開けた場合、センサーの検知エリアから離れると扉は閉まり始めますので、はさまれないよう注意してください。

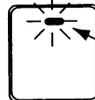
（リニアオートスライドの場合）

手動で解錠操作をすると引戸が閉まっても自動施錠はされませんので、手動でサムターンツマミを操作して施錠します。（この時枠に当たって4秒以内に施錠する様にしてください。解錠状態のまま4秒以上経過すると、通電金具の反発で自動で開いてしまいます。）

③ 施錠ボタンの確認

A. 解錠する操作—電気錠が施錠状態のとき〔ランプ(赤)消灯〕					
操作手順	操作前	解錠ボタンを押します	扉を開ける	扉を閉める	
			 玄関ドア  玄関引戸電気錠単体  電動引戸・リニアオート 自動で開扉	 玄関ドア  玄関引戸電気錠単体  電動引戸・リニアオート 自動で閉扉	
	ランプの状態	 消灯	 点灯	 点灯	 消灯
	電気錠の状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

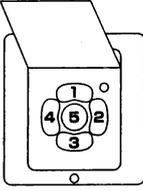
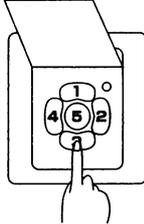
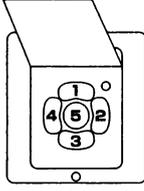
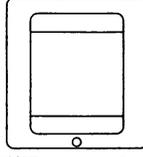
- ・解錠操作をしても扉を開けなかった場合→約30秒後に自動的に施錠されます。
- ・メインコントローラが警戒状態中に不正に解錠されたり、扉がこじ開けられると、ランプが点滅します。

B. 施錠する操作—電気錠が鍵・サムターンで解錠状態のとき〔ランプ(赤)点灯中〕		
操作手順	操作前	解錠ボタンを押します
		
ランプの状態	 点灯	 消灯
電気錠の状態	解錠	施錠

- ・扉が開いているときは施錠できません。

④-1.5キー解錠装置の確認

数字列の表示

A. 解錠する操作				
操作手順	カバーを開ける	暗証番号5桁押す 「ピッ」「ピッ」…	「ピーピー」… (約3秒)	カバーを閉める
5キー・パネルの状態			 ※電動引戸・リニアオートの場合、自動開扉	 ※電動引戸・リニアオートの場合、自動閉扉
電気錠の状態	施錠	施錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

- ・約30秒間解錠します。(扉を開けなくても約30秒後には自動施錠します)
- ・この間に扉を開けてください。扉を閉めると自動施錠します。
- ・操作を間違えますと警告音「ピーピーピー」が鳴動します。クリアボタンを押して最初から操作しなおしてください。
- ・3回間違えますと警告音「ピーピーピー」が約90秒鳴動し、その間操作できなくなります。
- ・メインコントローラが警戒状態中に不正に解錠されたり、扉がこじ開けられると警告音「ピーピーピー」が鳴動(28ページ【警報機能について】をご覧ください)し、その間、操作ができなくなります。
- ・ボタン部の照明(バックライト)は、常時点灯していますが、警告音鳴動中は警告音にあわせて点滅します。

B. 施錠する操作：電気錠が鍵・サムターンで解錠しているとき

上記操作をすると施錠されます

- ・扉が開いているときは施錠できません。

④-2. 10キー解錠装置の確認

A. 数字列の表示の確認

操作手順	操作前	ON 押す 「ピッ」	もう一度 ON 押す 「ピッ」	もう一度 ON 押す 「ピッ」
10キー・パネルの状態				
数字	数字消灯	ランダム配列	電話配列	数字消灯

B. 解錠する操作

操作手順	操作前	ON 押す 「ピッ」	暗証番号4桁押す 「ピッ」「ピッ」...	ON 押す 「ピーッピーッ5回」
10キー・パネルの状態				
			ランダム配列、電話配列 どちらでも操作できます。	

⇒ 解錠

※電動引戸・リニアオートの場合は、自動解錠→開閉動作→自動閉扉→自動施錠

- ・約30秒間解錠します。（扉を開けなくても約30秒間後には自動施錠します）
- ・この間に扉を開けてください。扉を閉めると自動施錠します。
- ・操作を間違えすと警告音「ピーピーピー5回」鳴動します。最初から操作しなおしてください。
- ・3回間違えすと警告音（ピーピーピー）が約90秒鳴動し、その間操作できなくなります。

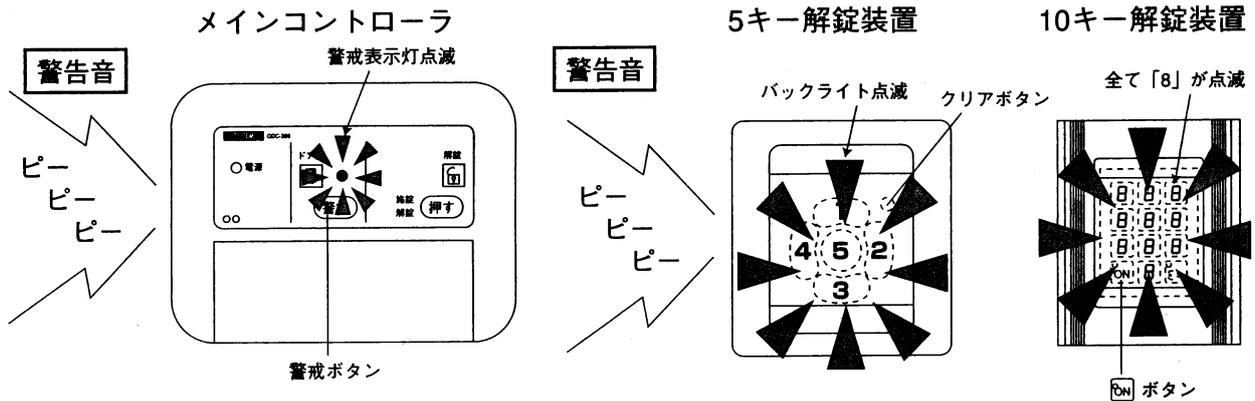
C. 施錠する操作：電気錠が鍵・サムターンで解錠しているとき

上記操作をすると施錠されます

- ・扉が開いているときは、施錠できません。

⑤ 警報機能について

このシステムの安全性を高めるために下記の場合、警告音が鳴ります。



⑤-1. メインコントローラから警告音が出る原因と対応

原因	対応	ご注意
10キー解錠装置のミス操作を3回続けたとき	警戒ボタンを押してください (または約90秒後に自動的に鳴り止みます)	警告音が鳴っている間は施解錠操作はできません
警戒状態中に、 ・鍵・サムターン・リモコンで解錠した ・扉がこじ開けられた 等のとき (※)	警戒ボタンを押してください (または約10分後に自動的に鳴り止みます)	警戒表示灯は、もう一度警戒ボタンを押して警戒状態を解除するまで消えません
メインコントローラ、10キー解錠装置、施解錠ボタンで解錠し、扉を30秒以上開け放したとき	扉を閉めてください (扉を閉めるまで鳴り続けます)	扉を開け放しにするときは、鍵もしくはサムターンで解錠してください

⑤-2. 10キー解錠装置から警告音が出る原因と対応

※次の操作を行うと10キーの数字が消えます。

- ① を3回押したとき (警告音は鳴動しません)
- ② 3桁以下の数字を入力したとき (ピーピーピー5回)
- ③ ボタン操作間隔を10秒以上あけたとき (ピーピーピー5回)

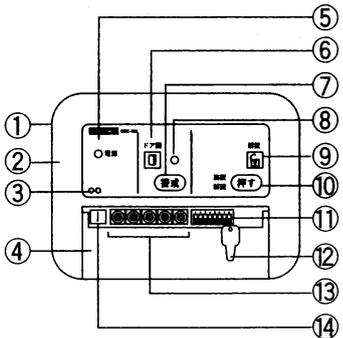
原因	対応	ご注意
暗証番号を間違えて押したとき あるいは②、③を操作したとき (数字が消えます)	を押してください (または5回で自動的に鳴り止みます)	警告音が鳴っている間は施解錠操作はできません
ミス操作 (②あるいは上記) を3回続けたとき	メインコントローラの警戒ボタンを押してください (または約90秒後に自動的に鳴り止みます)	警告音が鳴っている間は施解錠操作はできません
メインコントローラが警戒状態中に、 ・鍵・サムターン・リモコンで解錠した ・扉がこじ開けられた 等のとき (※)	メインコントローラの警戒ボタンを押してください (または10キー解錠装置は約90秒後に、5キー解錠装置は約2分後に自動的に鳴り止みます)	メインコントローラの警戒表示灯は、もう一度警戒ボタンを押して警戒状態を解除するまで消えません

※メインコントローラ、10キー解錠装置、施解錠ボタンで解錠すれば警告音は鳴りません。

7-3. こんな場合には

① メインコントローラ・施錠ボタン 各システム共通

■メインコントローラ



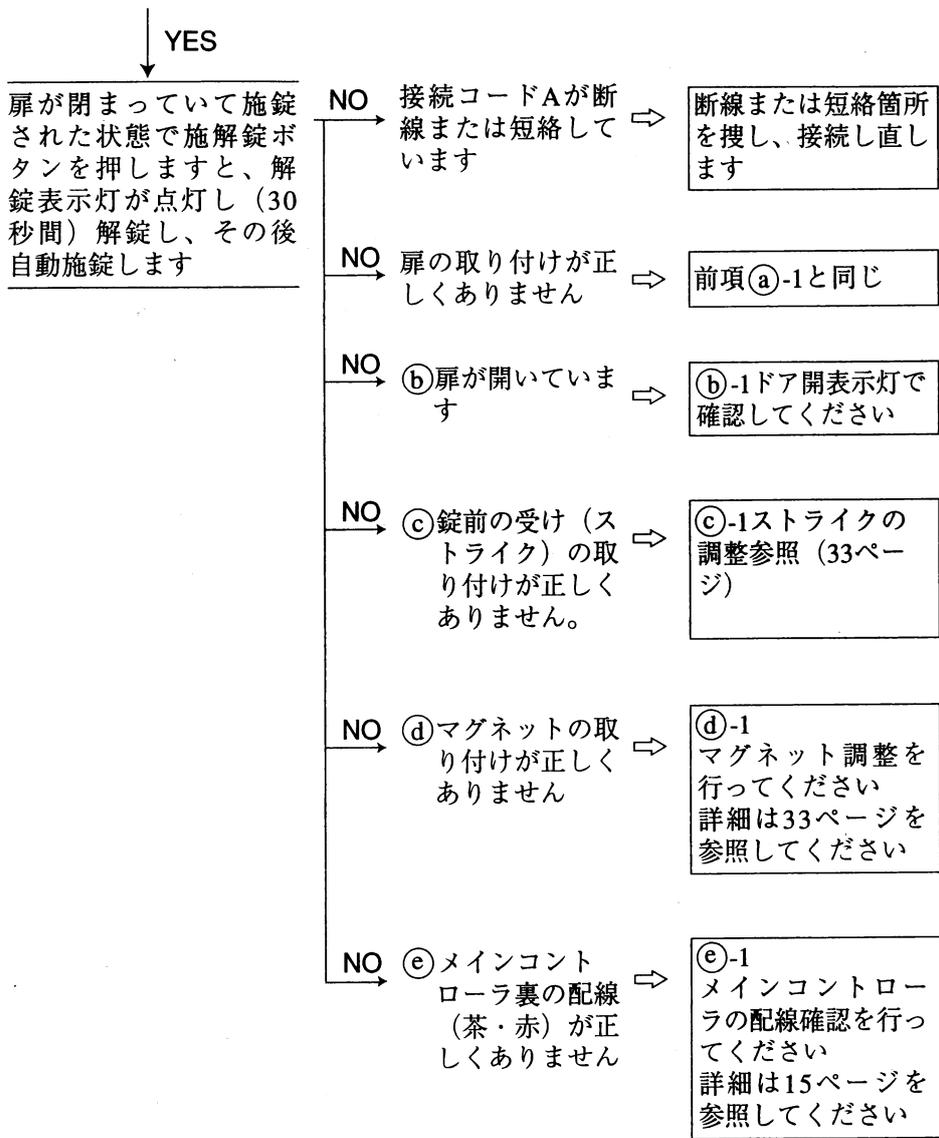
- ① シャーシー
- ② パネル
- ③ 音孔
- ④ フタ
- ⑤ 電源表示灯 (緑)
- ⑥ ドア開表示灯 (赤)
- ⑦ 警戒ボタン
- ⑧ 警戒表示灯 (緑)
- ⑨ 解錠表示灯 (赤)
- ⑩ 解錠ボタン

- フタを開けた中にあります
- ⑪ 設定スイッチ
 - ⑫ 付属ドライバー
 - ⑬ 暗証番号設定スイッチ
 - ⑭ 電源スイッチ

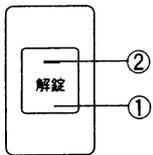
	原因	対策
<p>〈電源を入れます〉</p> <p>電源表示灯⑤が点灯します</p> <p>YES</p>	<p>NO AC100V線が接続されていません</p> <p>NO 電源スイッチが入っていません</p>	<p>AC100V線を接続します</p> <p>電源スイッチを入にします</p>
<p>玄関扉を開けるとドア開表示灯⑥が点灯します</p> <p>YES</p>	<p>NO 接続コードAのコネクタが正しく接続されていません</p> <p>NO 接続コードAが断線または短絡しています</p>	<p>コネクタを再度接続してください</p> <p>断線または短絡箇所を捜し、正常に接続し直します</p>
<p>玄関扉を閉めるとドア開表示灯⑥が消えます</p> <p>YES</p>	<p>NO ①扉の取り付けが正しくありません</p> <p>NO 接続コードAが断線または短絡しています</p>	<p>①-a-1 〈玄関ドア〉 扉とマグネットのチリを8mm以下に調整してください</p> <p>また、マグネットの上下、前後調整(33ページ参照)を行い、ドア開表示灯が消える位置に調整してください</p> <p>断線または短絡箇所を捜し、接続し直します</p>
<p>メイン・サブロックともサムターンを手動で解錠すると解錠表示灯⑨が点灯します</p> <p>YES</p>	<p>NO 接続コードAが断線または短絡しています</p>	<p>断線または短絡箇所を捜し、接続し直します</p>
<p>メイン・サブロックともサムターンを手動で施錠すると解錠表示灯⑨が消えます</p> <p>YES</p>	<p>NO 接続コードAが断線または短絡しています</p>	<p>断線または短絡箇所を捜し、接続し直します</p>

原因

対策



■施解錠ボタン



メインコントローラでの施・解錠動作を確認してください。

YES

原因

対策

解錠ボタンを押すと電気錠が解錠し、解錠ランプが点灯します

NO

メインコントローラとの配線が逆または断線してします

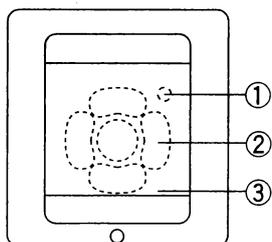
⇒

配線または断線箇所を捜し、正常に接続します

- ① 解錠ボタン
- ② 解錠確認ランプ（赤）

②-1.5キー解錠装置

■5キー解錠装置



- ① クリアボタン
- ② 暗証解錠ボタン
- ③ フタ

ボタン部のバックライト
が点灯している

YES

暗証番号 (5桁)
を押すと解錠します

YES

扉を閉めると自動的に施錠
されます

YES

サムターンを手動で解錠後
暗証番号
を押すと施錠します

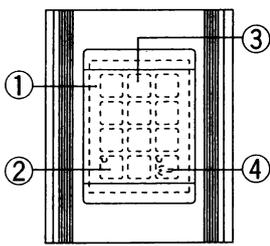
原因

対策

NO	メインコントローラのAC100V線が接続されていません	⇒ AC100V線を接続します
NO	メインコントローラの電源スイッチが入になっていません	⇒ 電源スイッチを入にします
NO	コネクタが接続されていません	⇒ コネクタを再度接続してください
NO	接続コードBが短絡または断線しています	⇒ 短絡または断線箇所を捜し接続してください
NO	メインコントローラに登録された暗証番号と違う番号が押されました	⇒ メインコントローラに登録番号を確認してください
NO	メインコントローラの(a)、(b)、(c)、(d)項と同じ	⇒ メインコントローラの(a)-1、(b)-1、(c)-1、(d)-1項と同じ
NO	メインコントローラに登録された暗証番号と違う番号が押されました	⇒ メインコントローラに登録番号を確認してください

②-2. 10キー解錠装置

■10キー解錠装置



- ① 10キーカバー
- ② ONボタン
- ③ 10キーボタン
- ④ エンドボタン

ON ボタンの赤表示灯が点灯している

YES

ON (点灯中) を押しと数字列が表示されます

YES

ON [] [] [] [] [] ON
暗証番号
を押すと解錠します

YES

扉を閉めると自動的に施錠されます

YES

サムターンを手動で解錠後
ON [] [] [] [] [] ON
暗証番号
を押すと施錠します

原因

対策

NO → メインコントローラのAC100V線が接続されていません ⇒ AC100V線を接続します

NO → メインコントローラの電源スイッチが入っていません ⇒ 電源スイッチを入にします

NO → コネクタが接続されていません ⇒ コネクタを再度接続してください

NO → 接続コードBが短絡または断線しています ⇒ 短絡または断線箇所を捜し接続してください

NO → しっかりONが押されていません ⇒ もう一度ONを押して「ピッ」という音を確認してください

NO → メインコントローラに登録された暗証番号と違う番号が押されました ⇒ メインコントローラに登録番号を確認してください

NO → メインコントローラの(a)、(b)、(c)、(d)項と同じ ⇒ メインコントローラの(a)-1、(b)-1、(c)-1、(d)-1項と同じ

NO → メインコントローラに登録された暗証番号と違う番号が押されました ⇒ メインコントローラに登録番号を確認してください

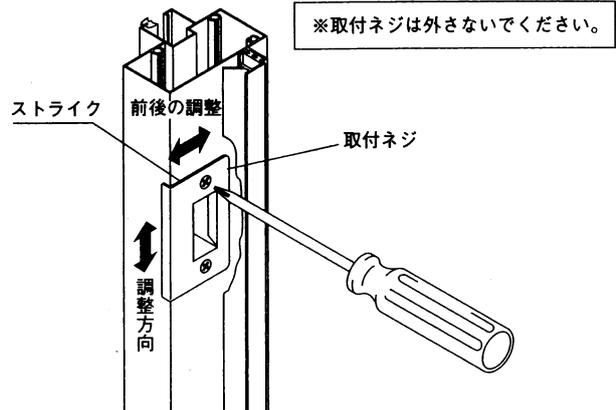
7-4. その他の調整方法

ストライク調整方法

A. 玄関ドアの場合

- 取付ネジをゆるめて上下・前後に調整した後、ネジを締め固定してください。

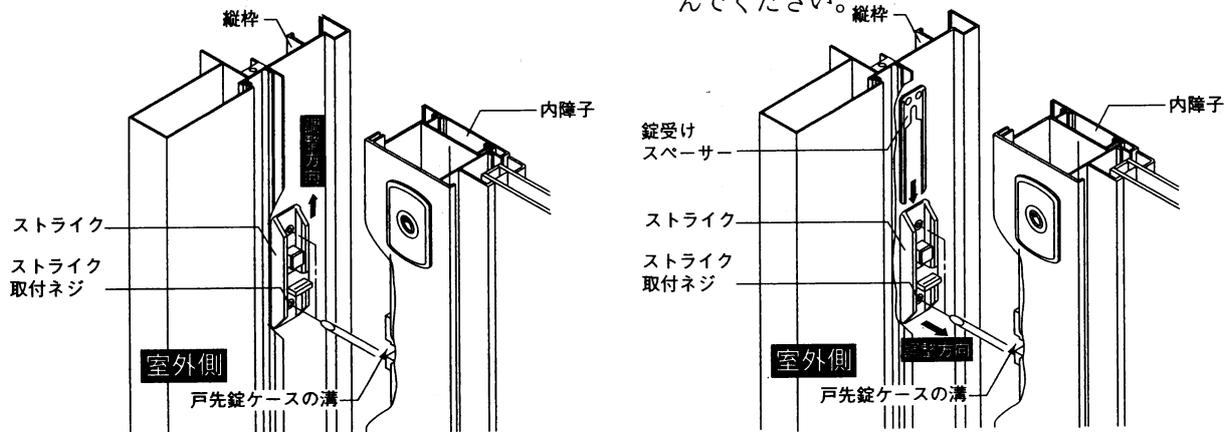
※詳しい調整方法は枠の取付説明書を参照してください。



B. 断熱玄関引戸k3・k4シリーズの場合

- 上方向の調整
ネジをゆるめストライクを上方向に調整してください。

- 出方向の調整
ネジをゆるめ錠受けスペーサー厚さ1mm (枠同梱) を枠とストライクの間に差し込んでください。

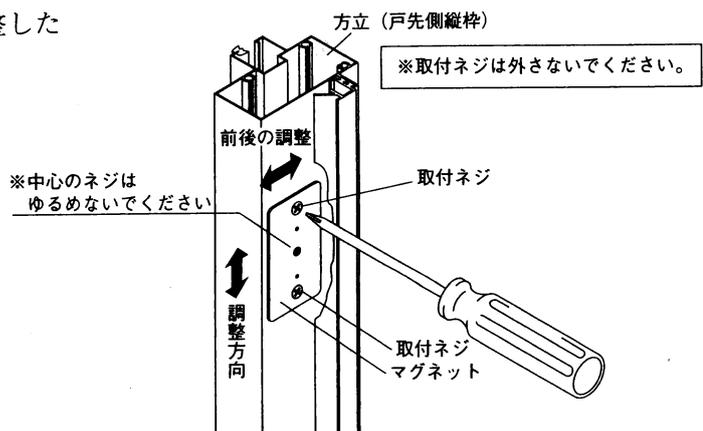


※詳しい調整方法は枠の取付説明書を参照してください。

マグネット調整方法

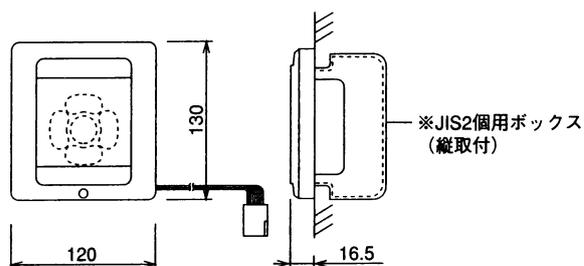
玄関ドアの場合のみ (玄関引戸にはありません)

- 取付ネジをゆるめて上下・前後に調整した後、ネジを締め固定してください。

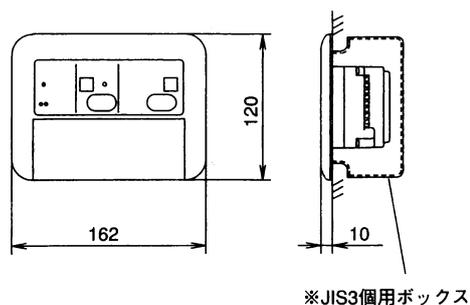


8. 外観寸法図

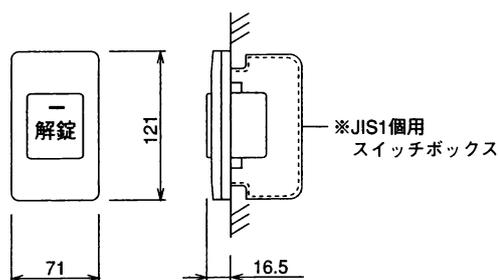
● 5キー解錠装置



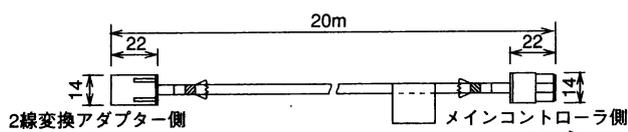
● メインコントローラ



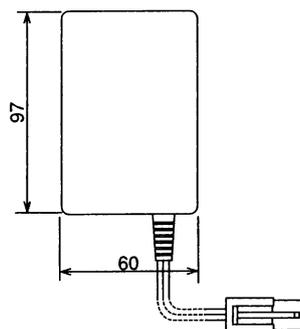
● 施解錠ボタン



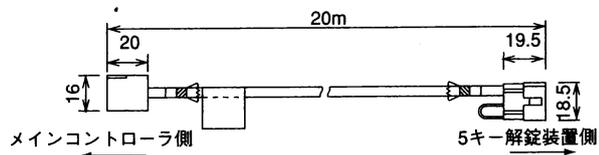
● 接続コードA (2芯20m3Pコネクタ付)



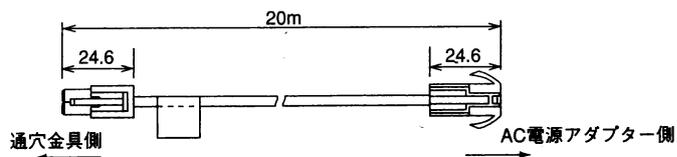
● AC電源アダプター



● 接続コードB (2芯20m4Pコネクタ付)

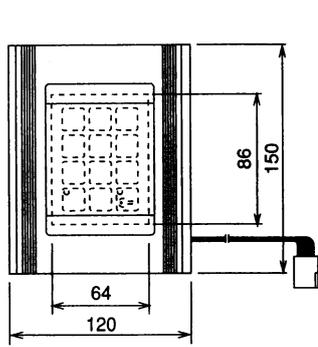


● 電源接続コード (2芯20m2Pコネクタ付)

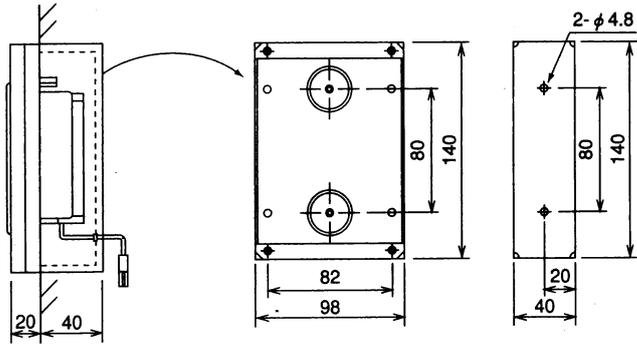


※印は、現場手配品です。

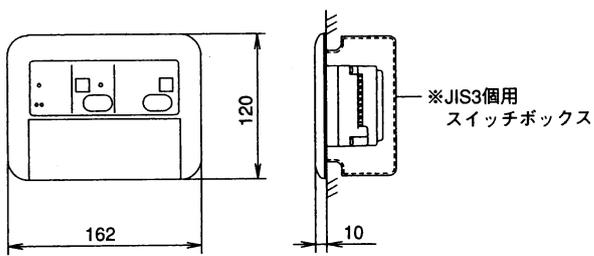
● 10キー解錠装置



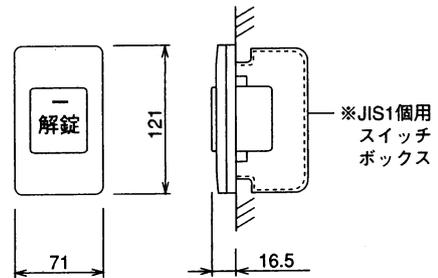
● 埋込ボックス



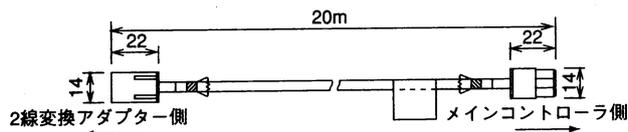
● メインコントローラ



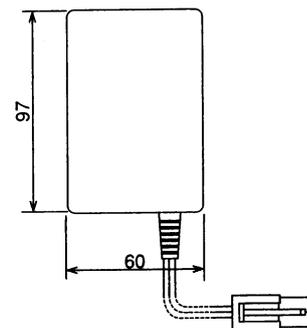
● 施解錠ボタン



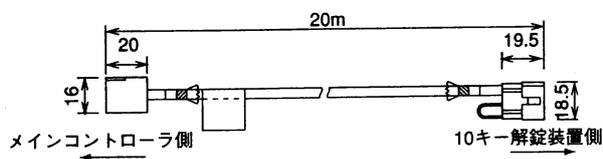
● 接続コードA (2芯20m3Pコネクタ付)



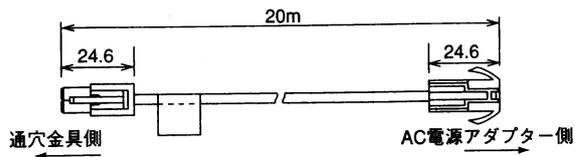
● AC電源アダプター



● 接続コードB (2芯20m4Pコネクタ付)



● 電源接続コード (2芯20m2Pコネクタ付)



※印は、現場手配品です。

9. 仕様

セット部品

1. メインコントローラ

電源電圧：AC100V 50/60Hz

消費電力：待受時 3W 最大 23W

配線数・通達距離：メインコントローラ — 2線変換アダプター … 0.65mm線を使用して50mまで
 :メインコントローラ — 5・10キー 解錠装置 … 0.65mm線を使用して150mまで
 :メインコントローラ — 施解錠ボタン …… 0.65mm線を使用して50mまで
 :メインコントローラ — インターホン親機 …… 0.65mm線を使用して50mまで

解錠時間：約30秒固定

暗証番号：0~9 (5桁または4桁)

材質：ABS樹脂

色調：本体……エッグホワイト

使用範囲：一般家庭

2. 5キー解錠装置

電源：メインコントローラより供給

色調：イエローシュグレイパール

防雨性能：JIS3級に準拠

使用範囲：一般家庭

3. 10キー解錠装置

電源：メインコントローラより供給

色調：イエローシュグレイパール

防雨性能：JIS3級に準拠

使用範囲：一般家庭

4. AC電源アダプター

電源：AC100V 50/60Hz

定格入力容量：26VA

出力電圧：DC・9V

出力電流：1.5A

色調：ブラック

使用範囲：一般家庭

5. 施解錠ボタン

電源：メインコントローラより供給

色調：モダンホワイト

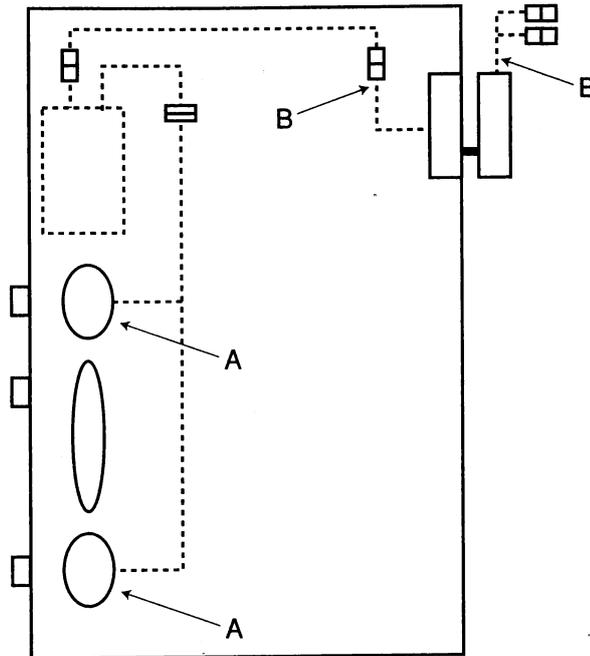
使用範囲：一般家庭

● 電気錠リモコン受信器 ((株)ユーシン製)

名称	定 格	
電 源	電圧 DC12V	電源容量 0.5A以上
モーター駆動信号	電圧 DC24V	電流 10mA
メイン錠解錠信号	電圧 DC24V	電流 100mA (max)
メイン錠施錠信号		
扉開閉信号		
リード線	L=200m/m コネクタ付 AWG-22 UL1007耐熱ビニール電線	

10. 配線色別信号内容図

A. 玄関ドアの場合



A部（受信機各配線信号）

	青	モーター（十時施錠）
	茶	モーター（十時解錠）
	黄	解錠信号（解錠時ON）
	黒	施解錠信号用GND
	赤	施錠信号（施錠時ON）

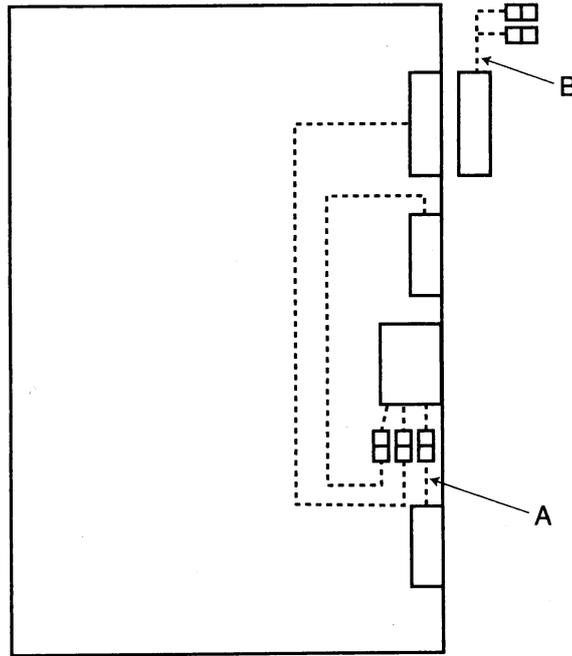
※メインロック、サブロックとも同じ信号です。

B部（通電金具部の信号）

—	灰	電源（+12V）
⏏	緑	電源用GND
	青	モーター（十時施錠）
	茶	モーター（十時解錠）
	黄	解錠信号（解錠時ON）
	黒	施解錠信号用GND
	赤	施錠信号（施錠時ON）
	白	扉開閉信号（閉時ON）
	橙	扉開閉信号用GND
	紫	空き

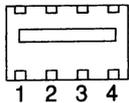
※枠側、扉側とも同じ信号です。

B. 玄関引戸／エスキューブの場合



A部 (受信機各配線信号)

☒ 端子 [ジャンクションSW取付用]



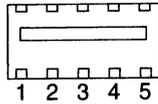
モレックス：5046-04A

コネクタ端子配列

No.	接続先	線色
1	ユニット電源用+12V	灰
2	ジャンクション入力	桃
3	ジャンクション出力	紫
4	ユニット電源用GND	緑

簡易リモコンは空

☑ 端子 [モーターユニット取付用]

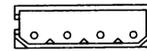


モレックス：5046-05A

コネクタ端子配列

No.	接続先	線色
1	GND	黒
2	ポジション B SW	灰
3	ポジション A SW	緑
4	モーター (-)	茶
5	モーター (+)	青

☑ 端子 [戸先錠取付用]



1 2 3 4

モレックス：5268-04A

コネクタ端子配列

No.	接続先	線色
1	施錠SW	赤
2	解錠SW	黄
3	GND	橙
4	ドアSW	白

B部 (通電金具部の信号)

—	灰	電源 (+12V)
	緑	電源用GND
⏏	青	モーター (+時施錠)
	茶	モーター (+時解錠)
⏏	黄	解錠信号 (解錠時ON)
	黒	施解錠信号用GND
	赤	施錠信号 (施錠時ON)
⏏	白	扉開閉信号 (閉時ON)
	橙	扉開閉信号用GND
	紫	空き



トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1

掲載商品に関する商品相談は
お客様相談室へ

TEL(03)3638-8181
フリーダイヤル ☎ (0120)126-001

トステムインターネットホームページ

<http://www.tostem.co.jp/>

その他商品の相談窓口 TEL(03)3638-8181

- 住宅用サッシ・ドア
- ビル用サッシ・スチールドア
- リビング建材(内装建材)
- バスルーム・洗面化粧台・システムキッチン
- エクステリア建材
- 外装建材(サイディング・外壁材)

2002年7月1日発行

